

【貴金属先物セミナー】

金（ゴールド）、プラチナの 市場環境と投資戦略

2024年11月19日（火） 19:00～

本案内に記載の勉強会では、勉強会でご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

加入協会

日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等

楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

【先物・オプション取引にかかるリスク】

先物・オプションの価格は、対象とする株価指数や商品市場の相場の変動等により上下しますので、これにより損失が生じるおそれがあります。また、先物取引は、少額の証拠金で当該証拠金の額を上回る額の取引をおこなうことができ、大きな損失が発生する可能性があります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。大阪取引所において、同一の先物・オプション口座で指数先物取引以外の先物取引又はオプション取引（商品先物取引、オプション取引）を取引する場合、当該先物・オプション取引口座内での取引の証拠金は一体として計算・管理されるため、指数先物取引以外の取引において相場の変動により証拠金が不足し、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要になる場合があります。また、所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、それが対象の先物取引に関して発生したものでなくても、その他の先物・オプション取引の建玉が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うこととなります。オプション取引はオプションを行使できる期間には制限があります。また、オプションの市場価格は、現実の株価指数の変動等に連動するとは限りません。価格の変動率は現実の株価指数の変動率に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失が発生する可能性があります。

【オプション取引における買方特有のリスク】

オプションは期限商品であり、買方が期日までに権利行使または転売をおこなわない場合には権利は消滅し、買方は投資資金の全額を失うこととなります。

【オプション取引における売方特有のリスク】

売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、売方は、オプション取引が成立したときは、証拠金を差し入れまたは預託しなければなりません。大阪取引所において、同一の先物・オプション口座でオプション取引以外の先物取引（指数先物取引、商品先物取引）を取引する場合、当該先物・オプション取引口座内での取引の証拠金は一体として計算・管理されるため、オプション取引以外の取引において相場の変動により証拠金が不足し、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要になる場合があります。また、所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、それが対象のオプション取引に関して発生したものでなくても、その他の先物・オプション取引の建玉が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うこととなります。売方は、権利行使の割当てを受けた際には必ずこれに応じる義務があり、権利行使価格と最終清算指数(SQ値)の差額を支払う必要があります。

【先物取引にかかる費用】

1枚あたり以下の取引手数料がかかります。※ () 内は税込金額、1円未満は切捨

銘柄名	通常取引手数料	J-NET取引手数料
日経225先物取引	250円 (275円) /枚	200円 (220円) /枚
日経225ミニ先物	35円 (38.5円) /枚	25円 (27.5円) /枚
日経225マイクロ先物	10円 (11円) /枚	—
グロース250先物取引	38円 (41.8円) /枚	—
金先物・白金先物・銀先物・パラジウム先物・ ゴム先物・とうもろこし先物・大豆先物・小豆 先物取引	250円 (275円) /枚	—
金ミニ先物・白金ミニ先物・金スポット・白金 スポット取引	70円 (77円) /枚	—

【オプション取引にかかる費用】※ () 内は税込金額、1円未満切捨

銘柄名	通常取引手数料
日経225オプション	売買代金の0.18% (0.198%) 最低手数料180円 (198円)
日経225ミニオプション	18円 (19.8円) /枚

【委託証拠金等について】

先物・オプション取引をおこなうには、委託証拠金の差し入れが必要です。必要委託証拠金はVaR方式(特定のポジションを一定期間保有すると仮定した場合において、将来の価格変動により一定の確率の範囲内で予想される損失をカバーする額を計算する方法)によって計算され、「(取引所証拠金額×当社が定める証拠金掛目)-ネット・オプション価値総額+先物両建て証拠金」となります。

※先物両建て証拠金 = 銘柄ごとの両建て枚数×両建てにかかる限月の中で最も高い1枚あたりの取引所証拠金額×当社が定める証拠金掛目

※先物両建て証拠金は、価格の変動に損益が連動しない建玉（両建玉）を保有している場合であっても、上記算出式に基づく証拠金額が必要です。

※両建て取引は経済合理性に欠くおそれがあり、費用も二重にかかることをご理解のうえで、お取引ください。

■金・プラチナ等のリスクと費用等について

お預かりする金・銀地金は、ロンドン貴金属市場協会（LBMA）の受渡供用品銘柄として規定された純度99.50%以上の金、及び純度99.90%以上の銀地金です。プラチナ地金は、純度99.95%以上のロンドンプラチナ&パラジウム市場（LPPM）の受渡供用品銘柄として規定されたプラチナ地金です。

金・プラチナ等の取引にかかるリスク

金・プラチナ等の価格は、金利、通貨、経済指標、政治情勢の変化等のさまざまな要因によって変動し、損失が生じるおそれがあります。なお、金・プラチナ等の取引は、クーリング・オフの対象にはなりません。

お取引の取消・解除について

お客様が行った貴金属地金の売買について、お客様は成立した取引に係る売買契約の解除を請求することができません。

※特定商取引法に基づくその他の表記については、下記URLをご参照ください。

https://www.rakuten-sec.co.jp/web/company/gold_attention.html

金・プラチナ等の取引にかかる費用等

1取引あたり以下の取引手数料がかかります。

取引の種類	取引手数料	
積立取引（定額積立・定量積立） スポット取引	買付	売買代金の1.65%（税込）
	売付	0円

なお、お客様の購入価格（小売価格）と売却価格（買取価格）には、価格差（売買スプレッド）があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

楽天証券経済研究所 コモディティアナリスト

吉田 哲 (よしだ さとる)

1977年生まれ。2000年、新卒で商品先物会社に入社。2007年よりネット専業の商品先物会社でコモディティアナリストとして情報配信を開始。2014年7月に楽天証券に入社。2015年2月より現職。

“過去の常識にとらわれない解説”をモットーとし、日経CNBC、ラジオ日経、ストックボイス、日本経済新聞、日経マネー、週刊エコノミスト、時事通信、共同通信など、主要メディアで幅広く、情報発信・コメント提供を行っている。2016年7月から2021年3月まで毎週火曜、日経CNBCでコモディティ情報のコーナーを担当。ほぼ毎営業日、ウェブサイトみんなかぶ先物にコメントを投稿（2024年11月13日時点で1850回目）。

楽天証券のオウンドメディア「トウシル」で週刊コモディティレポートを連載中。慶應義塾大学文学部第1類（通信教育課程）で独学中。

山形県生まれ、趣味は合唱曲鑑賞。

● 本日の内容

- 「トランプ^o2.0」の投資環境
- 金（ゴールド）の市場環境
- プラチナの市場環境
- 「トランプ^o2.0」環境下の貴金属投資戦略
- 「トランプ^o2.0」環境で相場と向き合うコツ

出所：筆者作成

金とプラチナは、いつ、どのように投資に用いるべきか？

- 「トランプ2.0」の投資環境
- 金（ゴールド）の市場環境
- プラチナの市場環境
- 「トランプ2.0」環境下の貴金属投資戦略
- 「トランプ2.0」環境で相場と向き合うコツ

出所：筆者作成

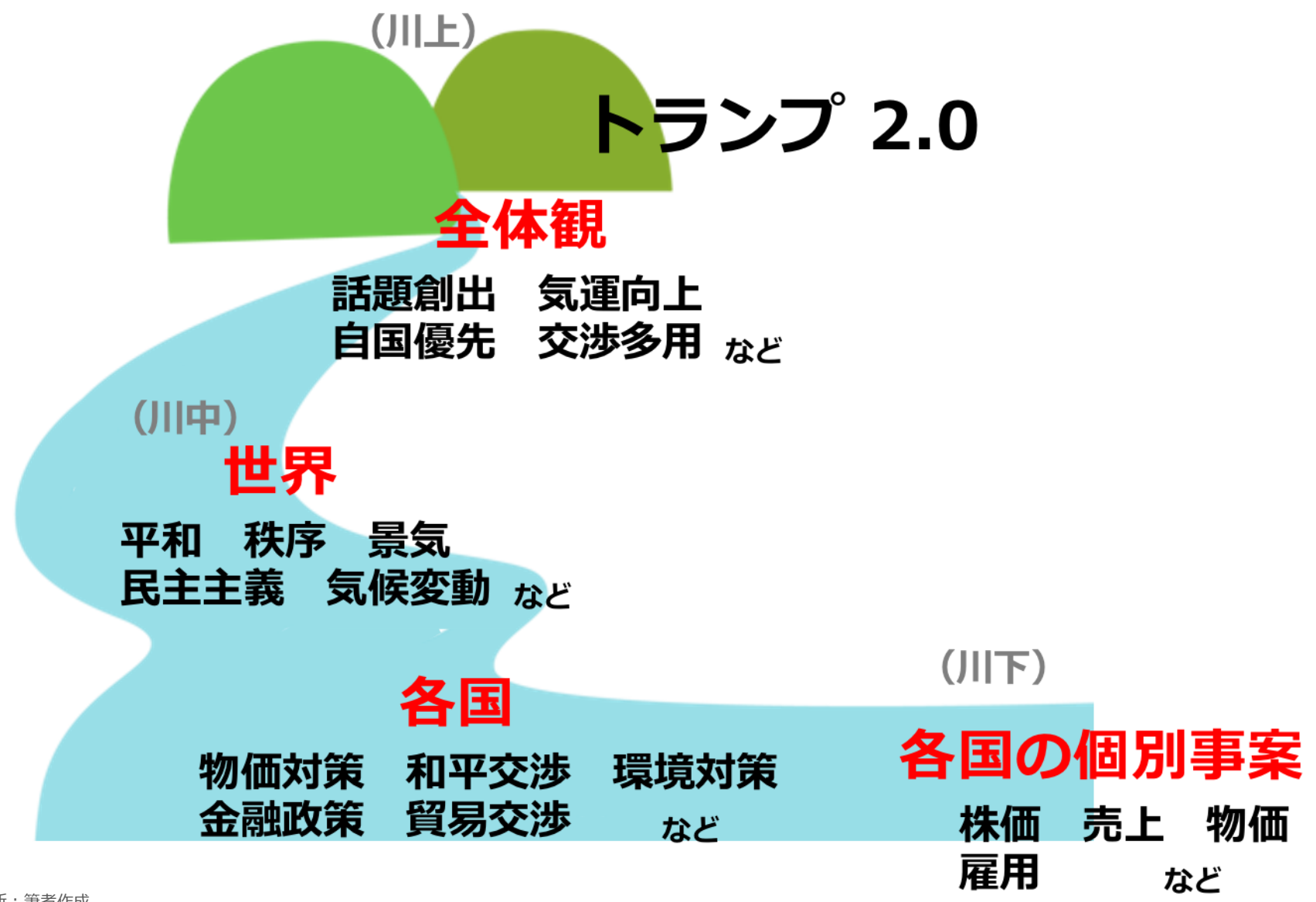
金とプラチナは、いつ、どのように投資に用いるべきか？

- 各所で正反対の事象が同時進行し得る。
- 世界の民主主義の減退が加速し得る。

出所：筆者作成

見たいように見たり、信じたいように信じたりしてはいけない時代が到来

● トランプ2.0の影響 (川上から川下まで)



出所：筆者作成

話題創出、気運向上、自国優先、交渉多用などがトランプ2.0の特徴。

● トランプ2.0環境下の「全体観（一例）」

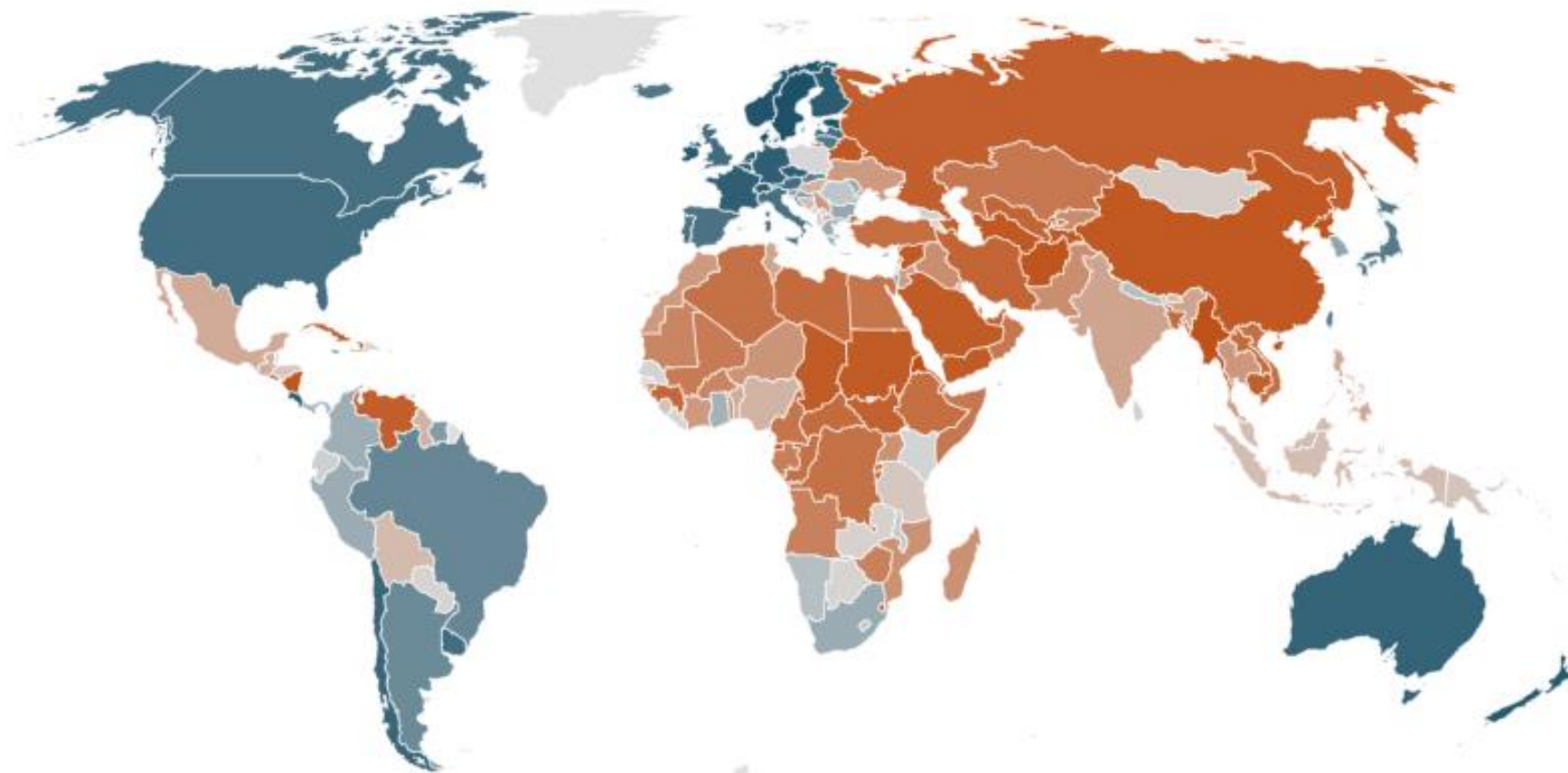
全体観（一例）	明（喜）	&	暗（悲）
話題創出 →	ビッグ マウス (大口)		誇張表現
気運向上 →	全体的な景気 回復期待 増		部分的な景気 鈍化懸念 増
自国優先 →	強い米国 復活		一部の関連国 疲弊
交渉多用 →	部分的な 事態進展		別の混乱 発生

トランプ2.0はまさに、悲喜こもごも

出所：筆者作成

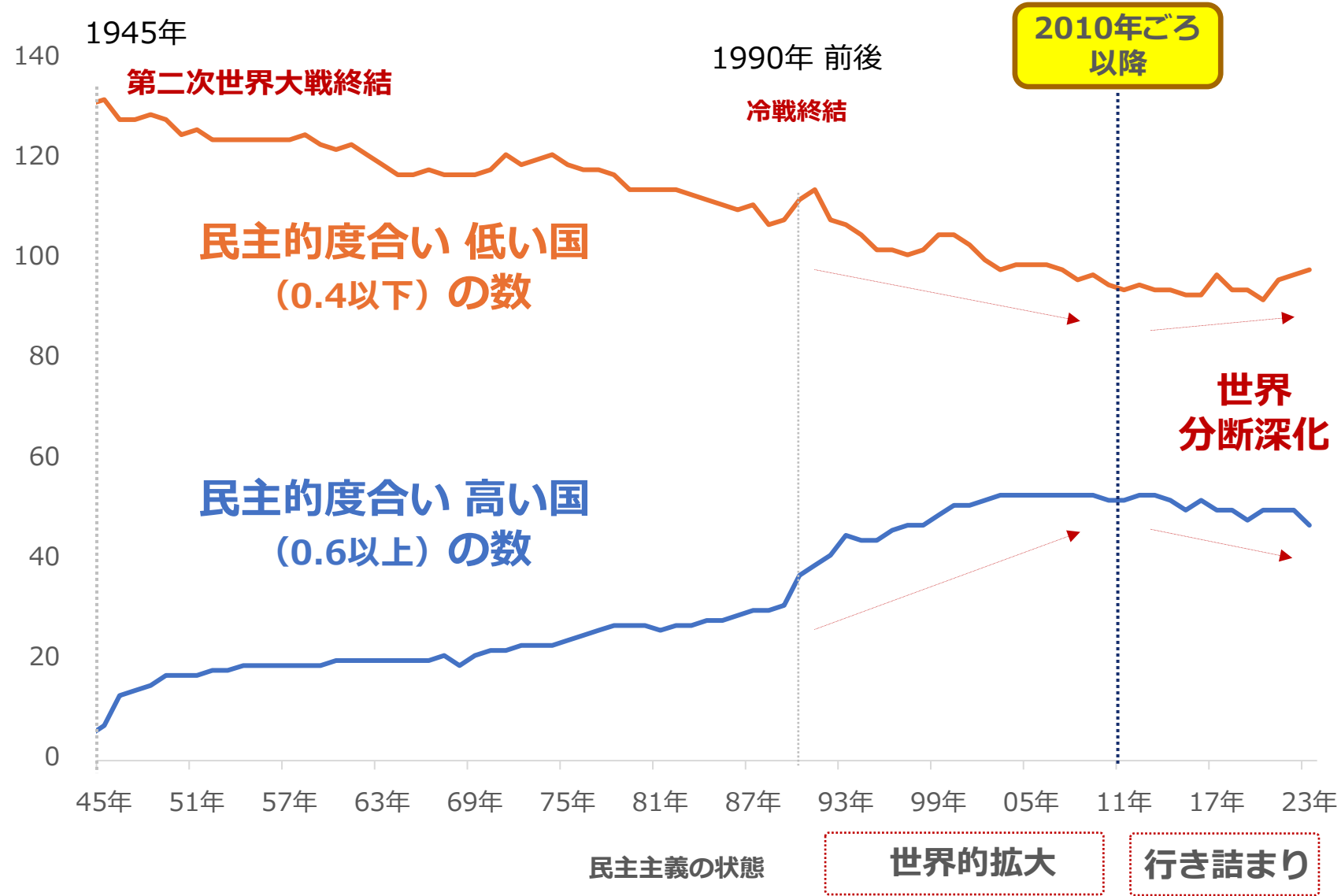
トランプ2.0環境下では、一つのテーマ内で正反対の事象が存在し得る。

● 自由民主主義指数 (2023年)



出所 : V-Dem研究所および国連のデータより筆者作成

● 自由民主主義指数0.4以下および0.6以上の国の数 (1945年~2023年)

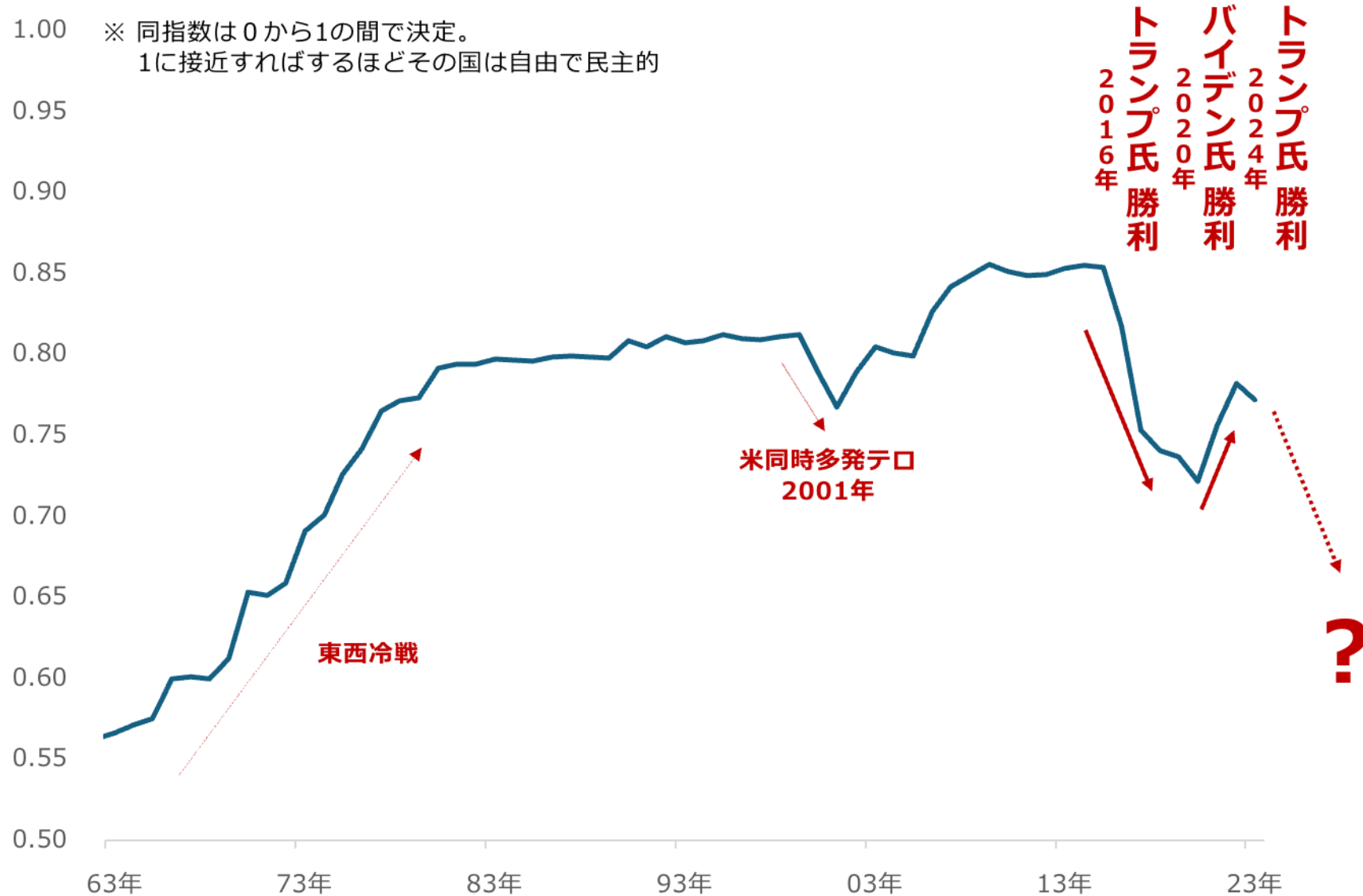


出所：V-Dem研究所のデータより筆者作成

第二次大戦終後、世界は民主化の方向で一致したが、近年は分断深化中



● 米国の自由民主主義指数（1963年～2023年）



出所：V-Dem研究所のデータより筆者作成

トランプ2.0環境下、米国の民主主義は「さらに」減退する可能性がある

● 各所で正反対の事象が同時進行し得る。

➡ 例：話題創出・・・「ビッグマウス」と「誇張表現」が同居
考慮すべき要素が二倍程度になる。

● 世界の民主主義の減退が加速し得る。

➡ 米国の自由民主主義指数が再度低下する可能性あり。
米国は西側の超大国。世界の民主主義の減退が加速し得る。

出所：筆者作成

● 本日の内容

- 「トランプ2.0」の投資環境
- **金（ゴールド）の市場環境**
- プラチナの市場環境
- 「トランプ2.0」環境下の貴金属投資戦略
- 「トランプ2.0」環境で相場と向き合うコツ

出所：筆者作成

金とプラチナは、いつ、どのように投資に用いるべきか？

- 短期視点で、上下両方の圧力が発生し得る。
- 長期視点で、上昇圧力が継続し得る。

出所：筆者作成

「短期」と「長期」、両方の視点を持つ。

● **トランプ2.0環境下における金（ゴールド）相場の環境（一例）**



出所：筆者作成 イラストはPIXTA

トランプ2.0環境下では、上昇と下落要因が同時進行（＝ブレ幅拡大）

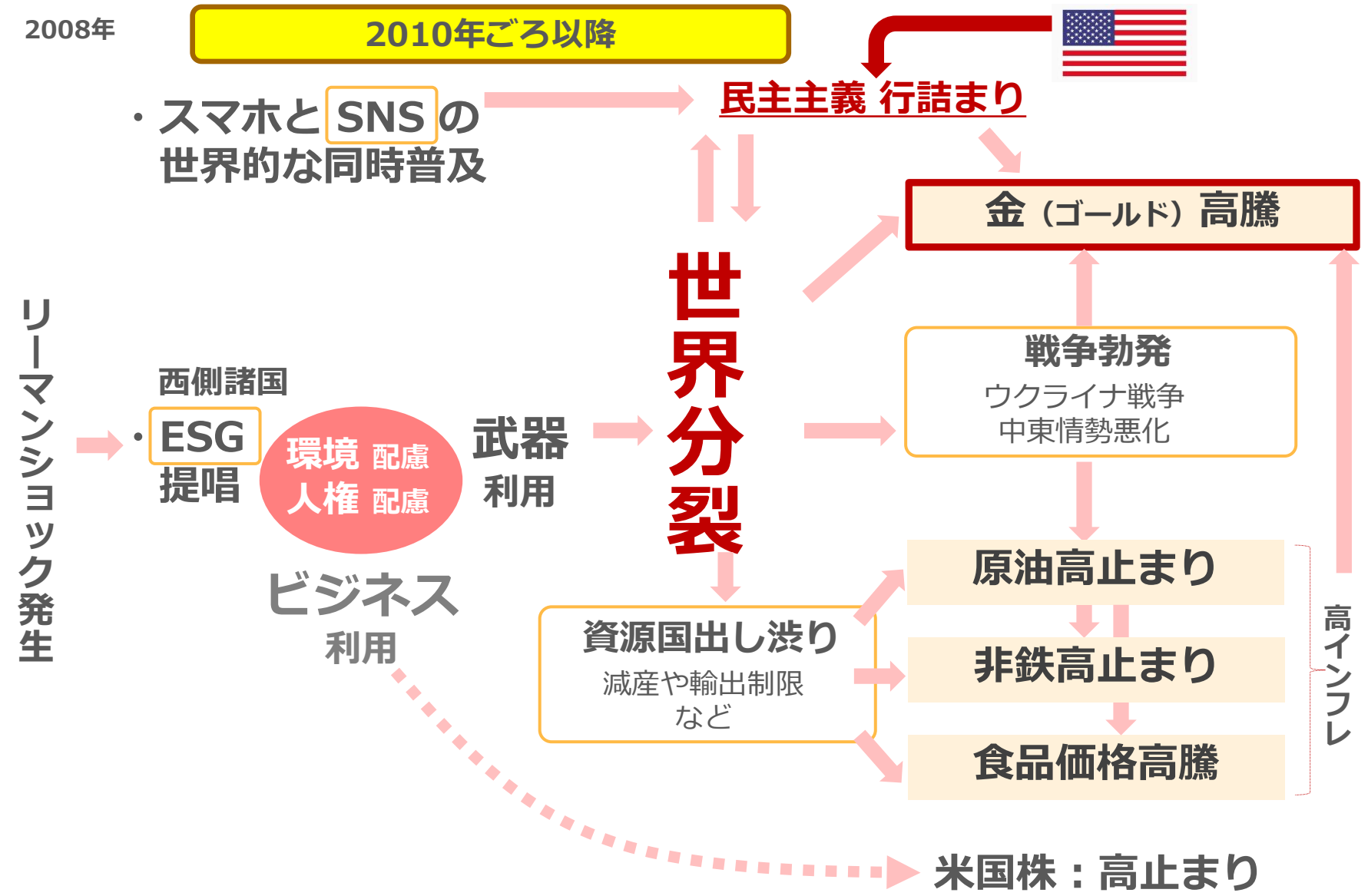
● 金（ゴールド）に関わる七つのテーマ（2024年11月時点）

時間軸	テーマ	材料（一例）	金相場への圧力
短期	(1) 有事ムード	<ul style="list-style-type: none"> ・中東リスク ・ウクライナ戦争 ・米中・東アジア情勢 	↑
	(2) 代替資産	<ul style="list-style-type: none"> ・トランプトレード 	↓
	(3) 代替通貨	<ul style="list-style-type: none"> ・米利下げ→ドル安観測 ・トランプトレード 	↑
中長期	(4) 中印等の宝飾需要	-	
	(5) 中央銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・金保有高増加（新興国中銀） ・通貨供給量増加（米ドル） 	↑
	(6) 鉱山会社	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト増加起因の生産減少 ・増産や売りヘッジ 	↓
超長期	(7) 見えないジレンマ	<ul style="list-style-type: none"> ・米国の民主主義の減退・世界分裂 ・SNS・ESG起因の混乱 	↑
	(8) 「ドル円の変動」も	<ul style="list-style-type: none"> ・円高 ・円安 	↑

出所：筆者作成

金相場の分析の際、時間軸の切り分けは大変に（大変に）重要。

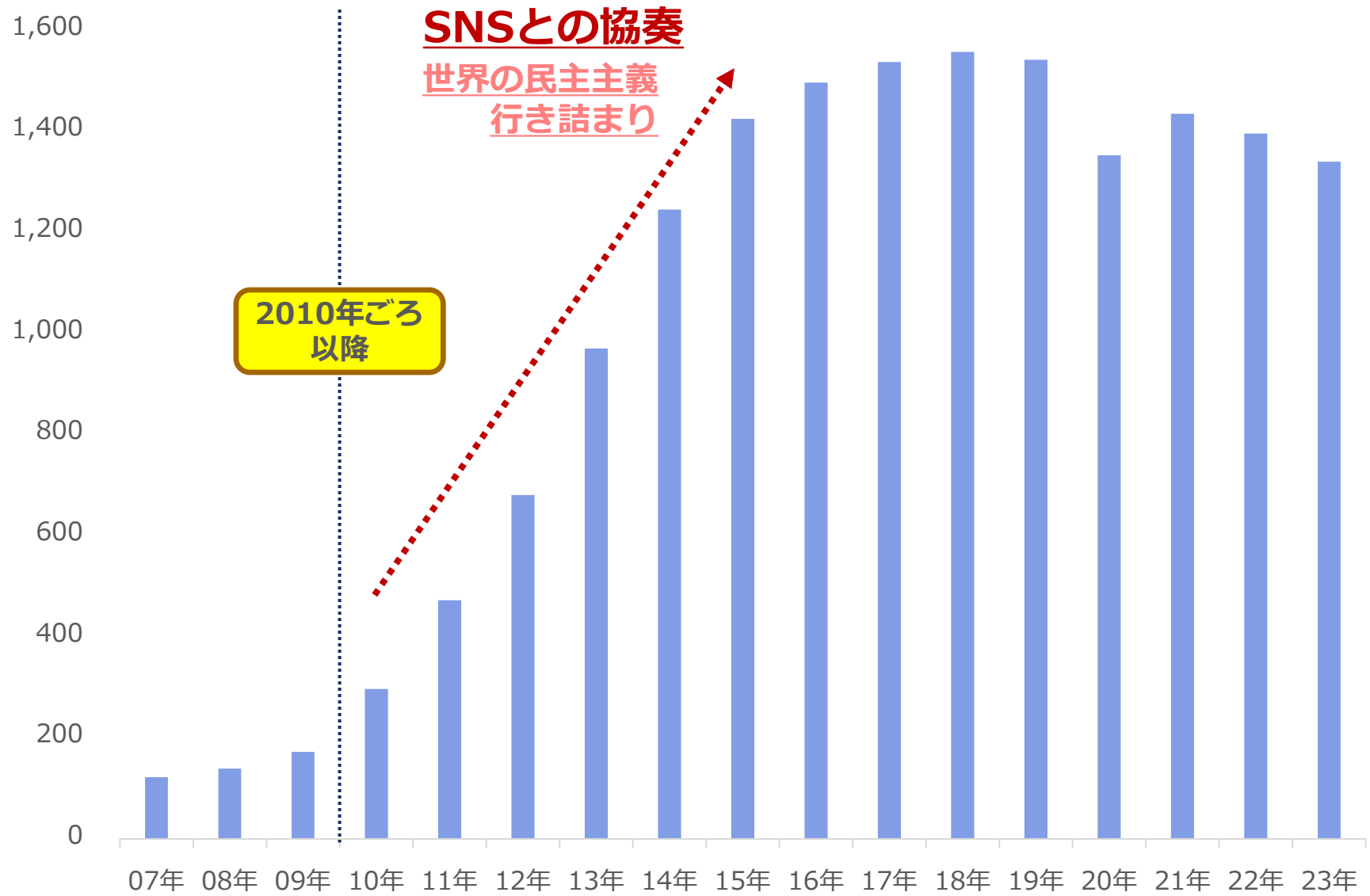
● 2010年ごろ以降の世界分断発生とコモディティ（国際商品）価格上昇の背景



出所：筆者作成

米国の民主主義の減退は、世界分裂、戦争勃発、資源出し渋りを加速させる

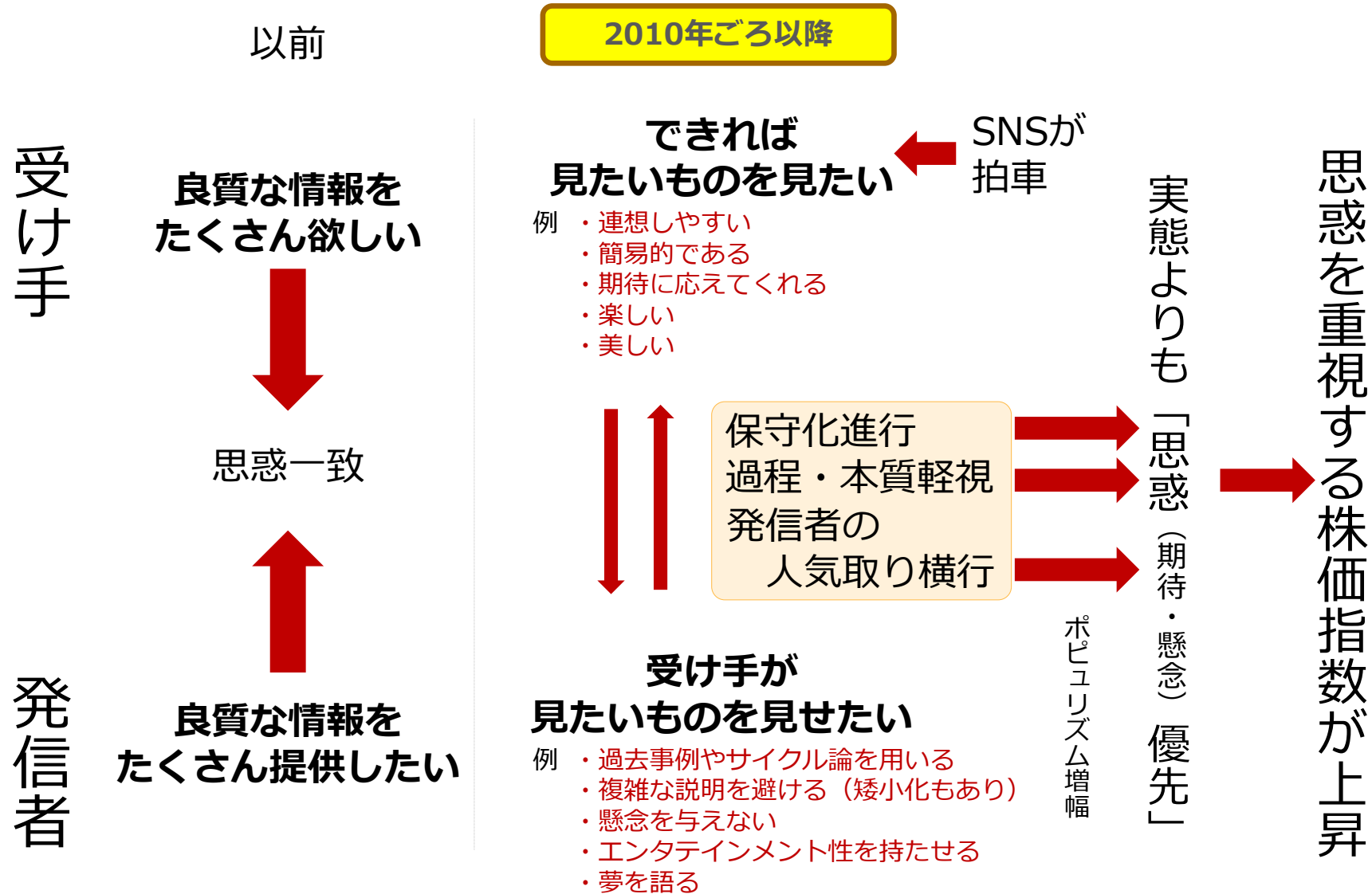
● 世界のスマートフォン販売台数 単位：百万台



出所：Gartnerなどのデータを基に筆者作成

2010年は世界スマホ・SNS元年だった。

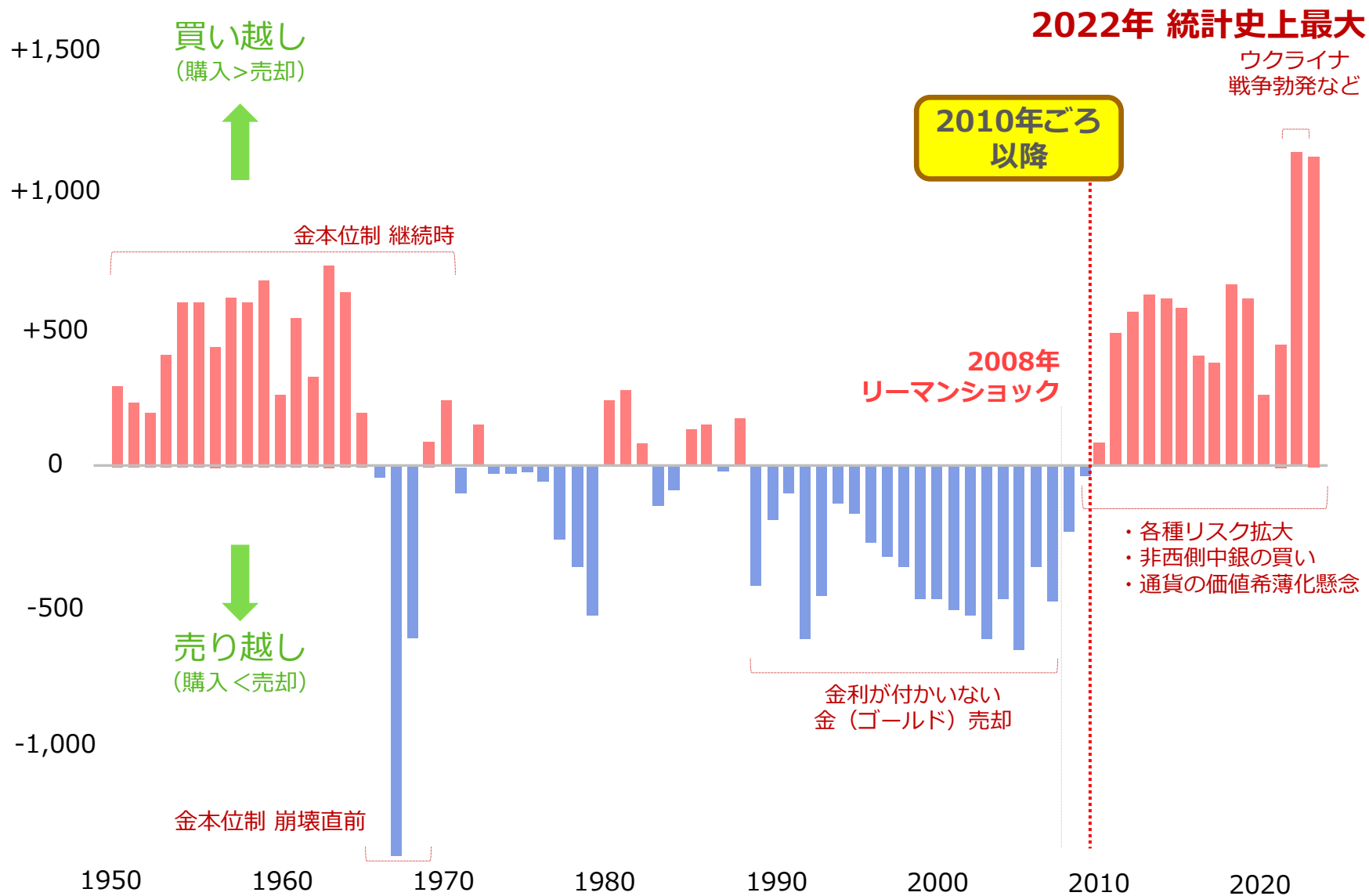
● 近年の情報の受け手と発信者の関係



出所：筆者作成

「思惑（期待・懸念）」で動きやすい株式市場は経済の歪みに準じている。

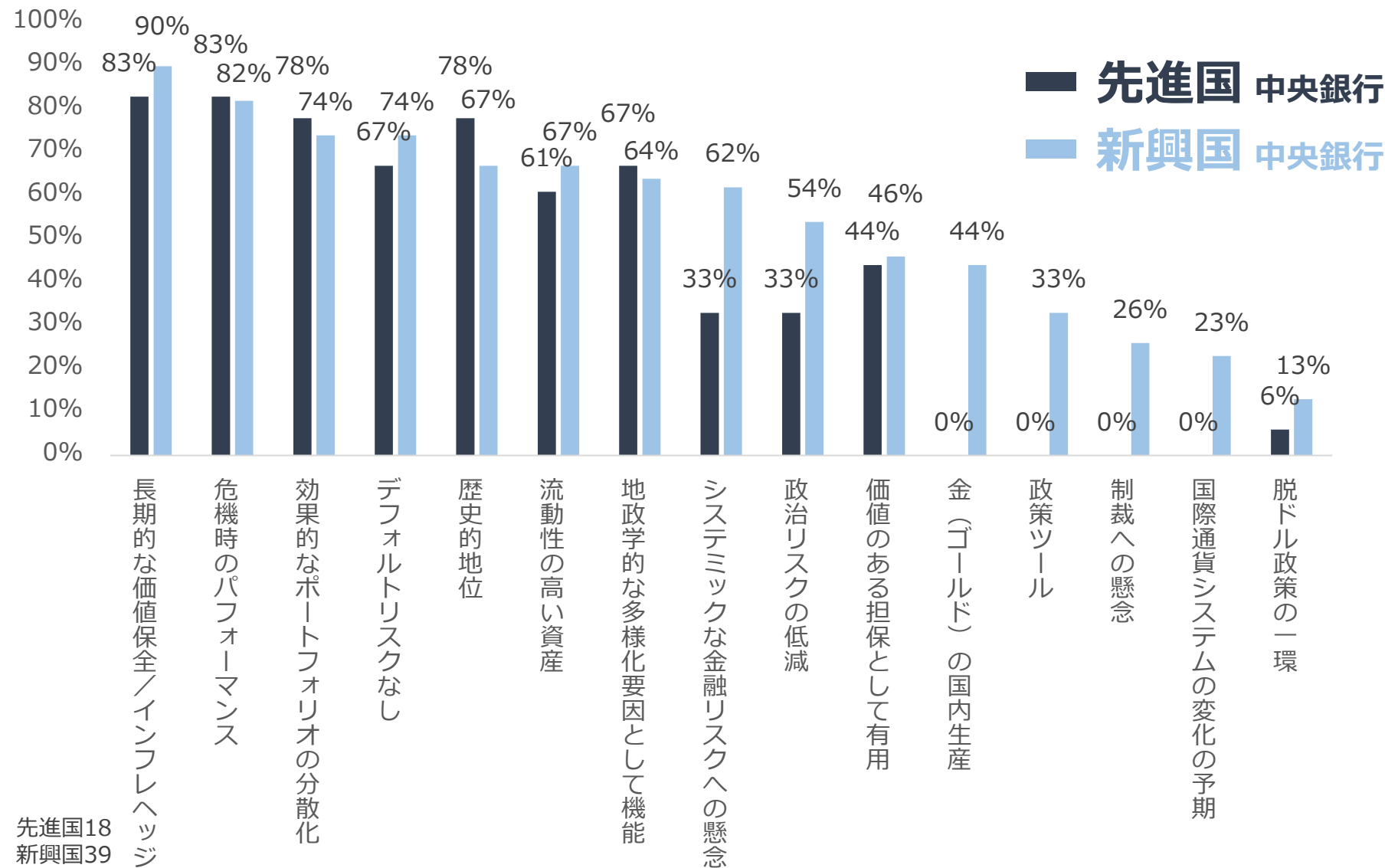
● 中央銀行による金（ゴールド）買い越し量の推移 単位：トン



出所：WGC（ワールド・ゴールド・カウンシル）の資料をもとに筆者作成

分裂が目立ち始めた頃から 中央銀行の金（ゴールド）買い越しが目立ち始めた

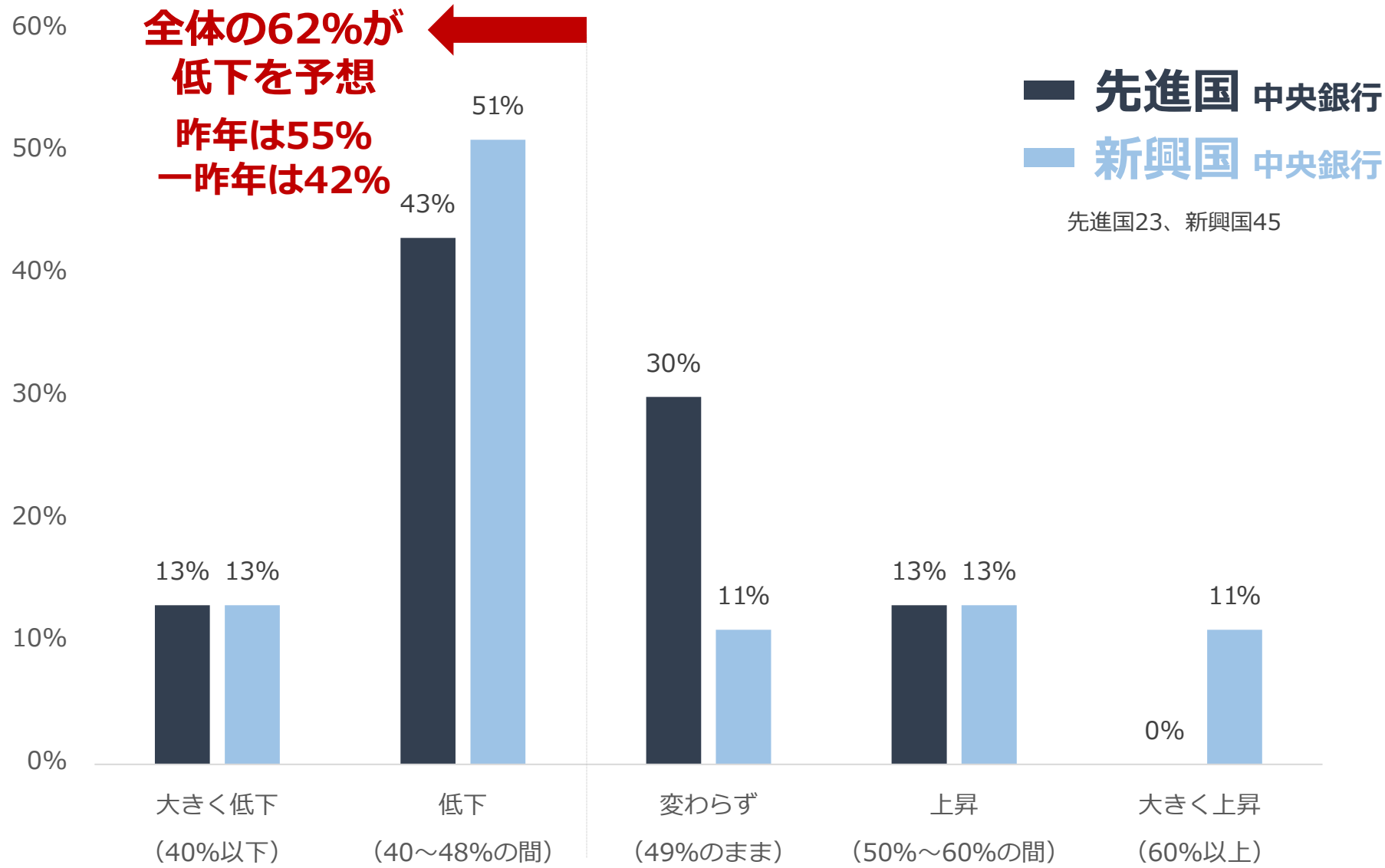
● 金（ゴールド）保有時の意思決定に関連するトピックは何ですか？（2024年）（複数回答可）



出所：WGC（ワールド・ゴールド・カウンシル）の資料をもとに筆者作成

先進国は「資産保全」 新興国は「リスク回避」を主目的に保有している模様

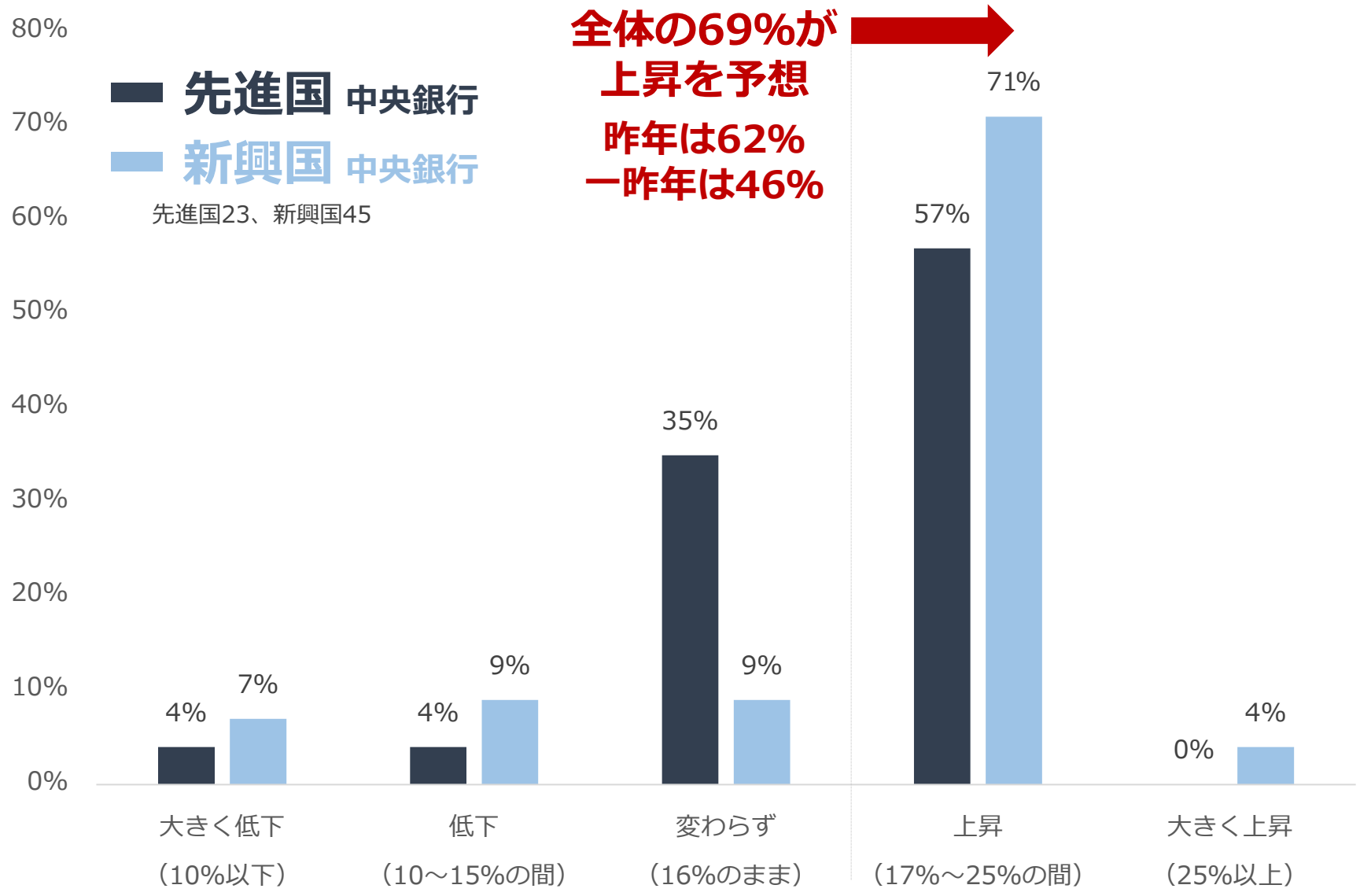
● 5年後、中央銀行の米ドルの保有比率（現在49%）はどうかと思いますか？（2024年）



出所：WGC（ワールド・ゴールド・カウンシル）の資料をもとに筆者作成

先進国、新興国ともに、多くが米ドルの保有比率は低下すると回答した

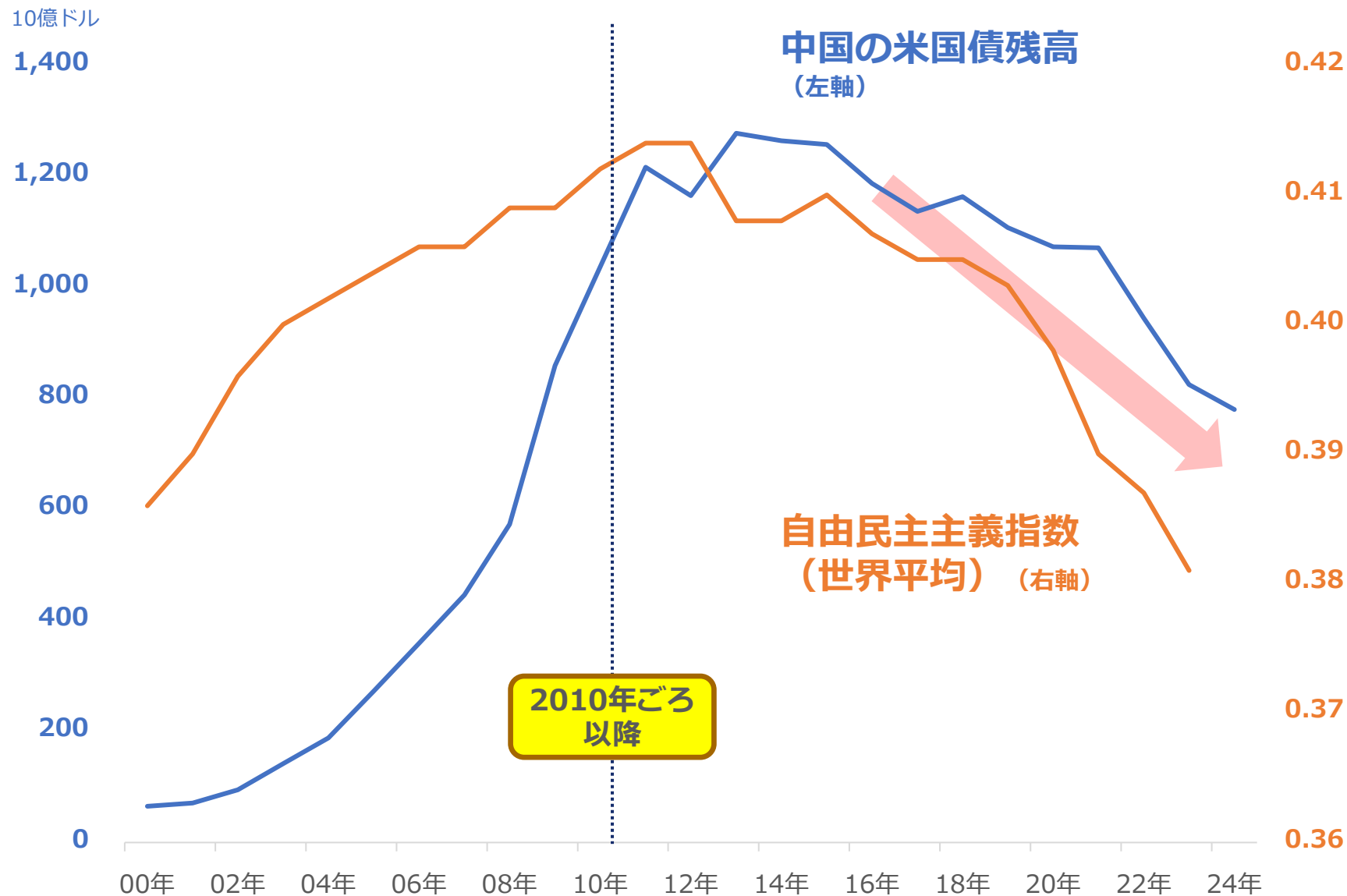
● 5年後、中央銀行の金（ゴールド）の保有比率（現在16%）はどうかと思いますか？（2024年）



出所：WGC（ワールド・ゴールド・カウンシル）の資料をもとに筆者作成

先進・新興国ともに、多くが金（ゴールド）の保有比率は上昇すると回答した

● 中国が保有する米国債残高と自由民主主義指数（世界平均）



出所：米国財務省およびV-Dem研究所のデータをもとに筆者作成

2010年ごろ以降 中国の米国債残高低下と世界の自由民主主義の低下が始まった

● 短期視点で、上下両方の圧力が発生し得る。

- ➡ トランプ2.0環境下で、同一テーマに正反対の事象が発生。
上昇・下落、両方の圧力がかかる。

● 長期視点で、上昇圧力が継続し得る。

- ➡ 世界分裂が進行し、戦争、資源の出し渋りが頻発。
中央銀行の買い、底流する不安をきっかけとした投資家の買い続く。

出所：筆者作成

「短期」と「長期」、両方の視点を持つ。

● 本日の内容

- 「トランプ2.0」の投資環境
- 金（ゴールド）の市場環境
- **プラチナの市場環境**
- 「トランプ2.0」環境下の貴金属投資戦略
- 「トランプ2.0」環境で相場と向き合うコツ

出所：筆者作成

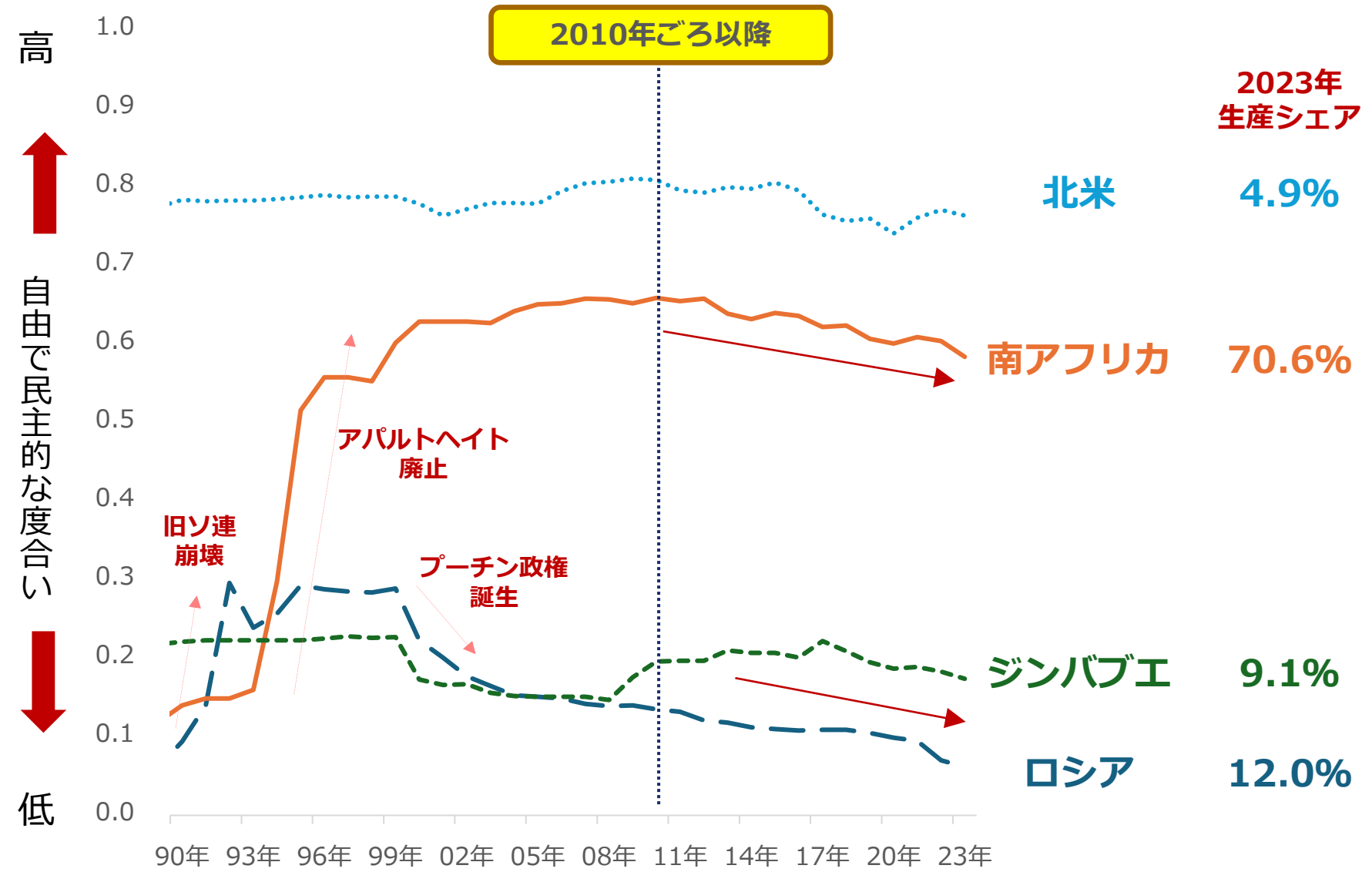
金とプラチナは、いつ、どのように投資に用いるべきか？

- 長期視点の供給減少要因が進行中。
- 長期視点の需要増加要因が目立ちつつある。

出所：筆者作成

長期視点で大きな変動が起きつつある。

● プラチナの主要鉱山生産国の自由民主主義指数



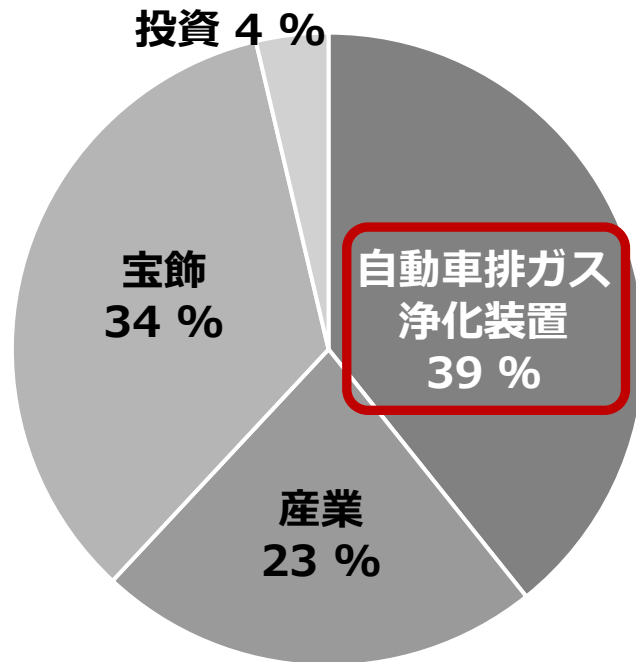
出所：V-Dem研究所およびWPICのデータをもとに筆者作成

※北米の自由民主主義指数は米国とカナダの平均

プラチナの主要鉱山生産国の民主度は低下傾向にある。

● プラチナの需要内訳とフォルクスワーゲン問題（2015年）

プラチナ需要内訳 (2015年)



フォルクスワーゲン問題

- ・ 同社が排ガス装置のテスト時に限り、有害物質の排出量が少なくなる**違法な装置**を使い、不正にテストを潜り抜けていたことが発覚。
2015年9月発覚



- ・ 同社の主力車種の**ディーゼル車**（燃料が軽油、欧州で広く流通）を**否定**する動きが強まった。

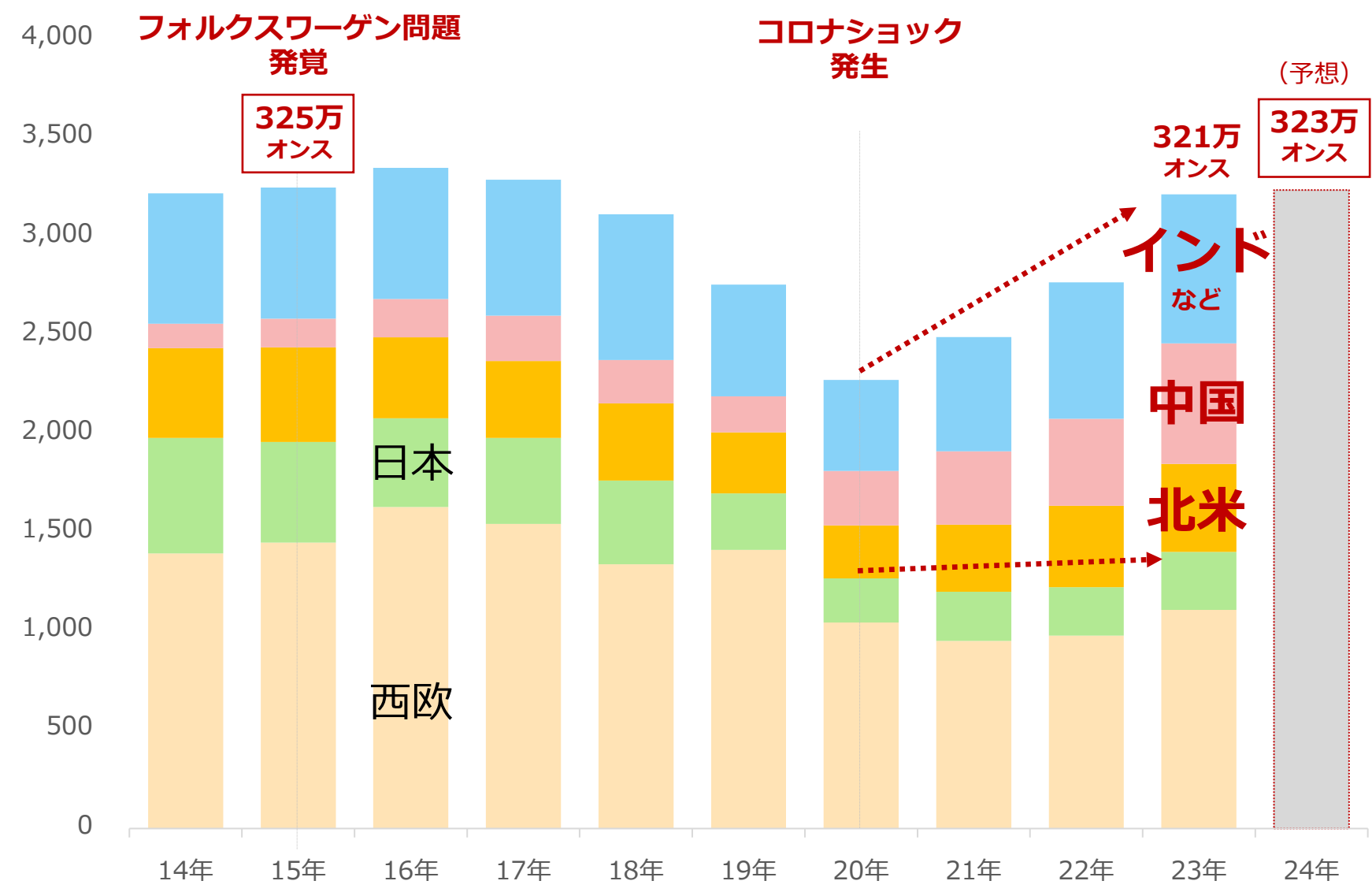


- ・ 同車種の排ガス浄化装置向けに多く使われる**プラチナに関する悲観論**が膨れ上がった。

自動車排ガス浄化装置：プラチナなどが持つ触媒作用※を利用し、エンジンから排出される排気ガスに含まれている有害物質を水や二酸化炭素、比較的毒性の少ない物質に変える装置。 ※一定の条件下で自分の性質を変えずに相手の性質を変える作用

出所：World Platinum Investment Councilのデータおよび各種資料をもとに筆者作成

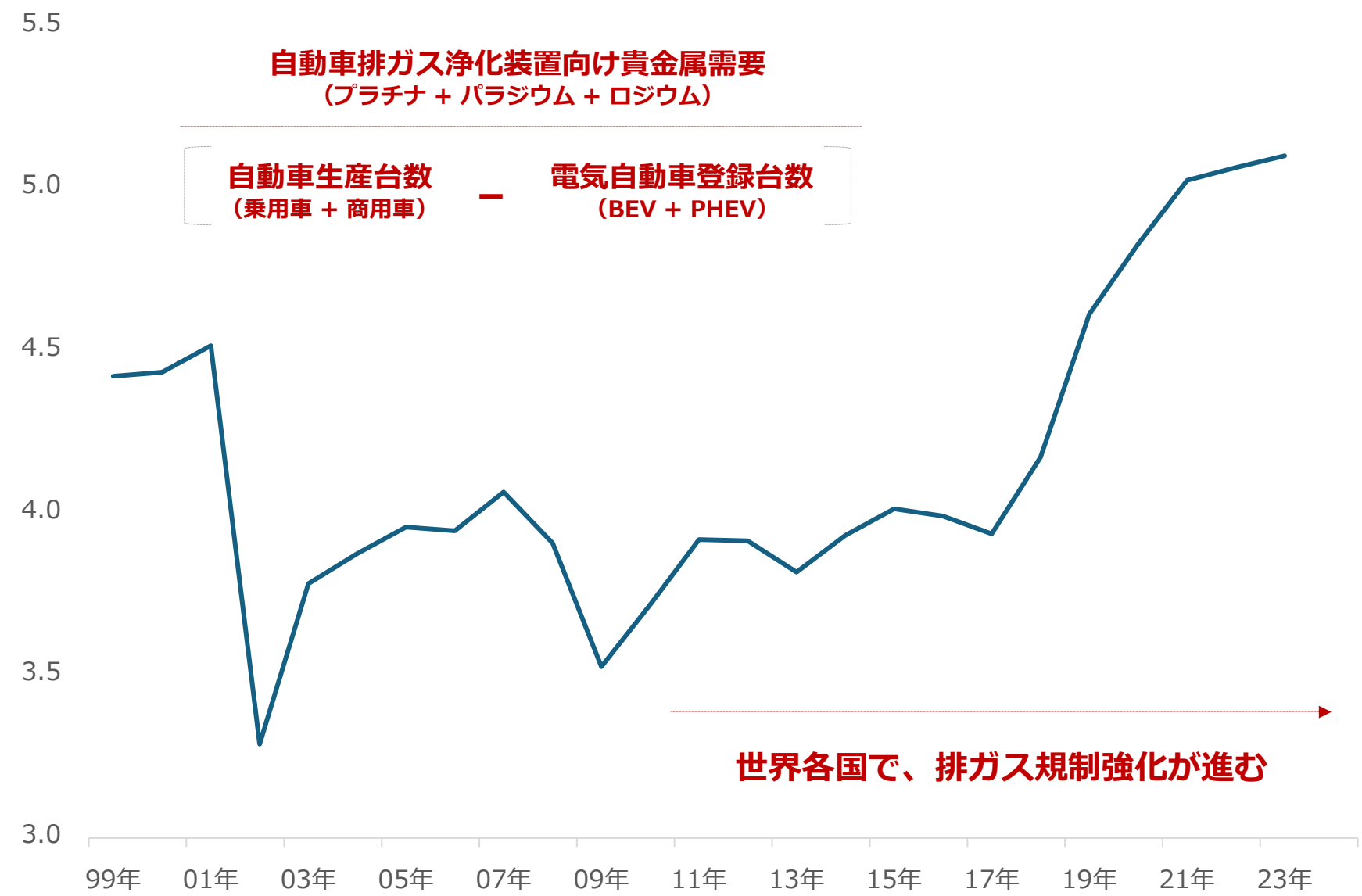
● プラチナの自動車排ガス浄化装置向け需要の推移 単位：千オンス



出所：World Platinum Investment Councilのデータおよび各種資料をもとに筆者作成

もう、呪縛から解き放たれたと言えるだろう。

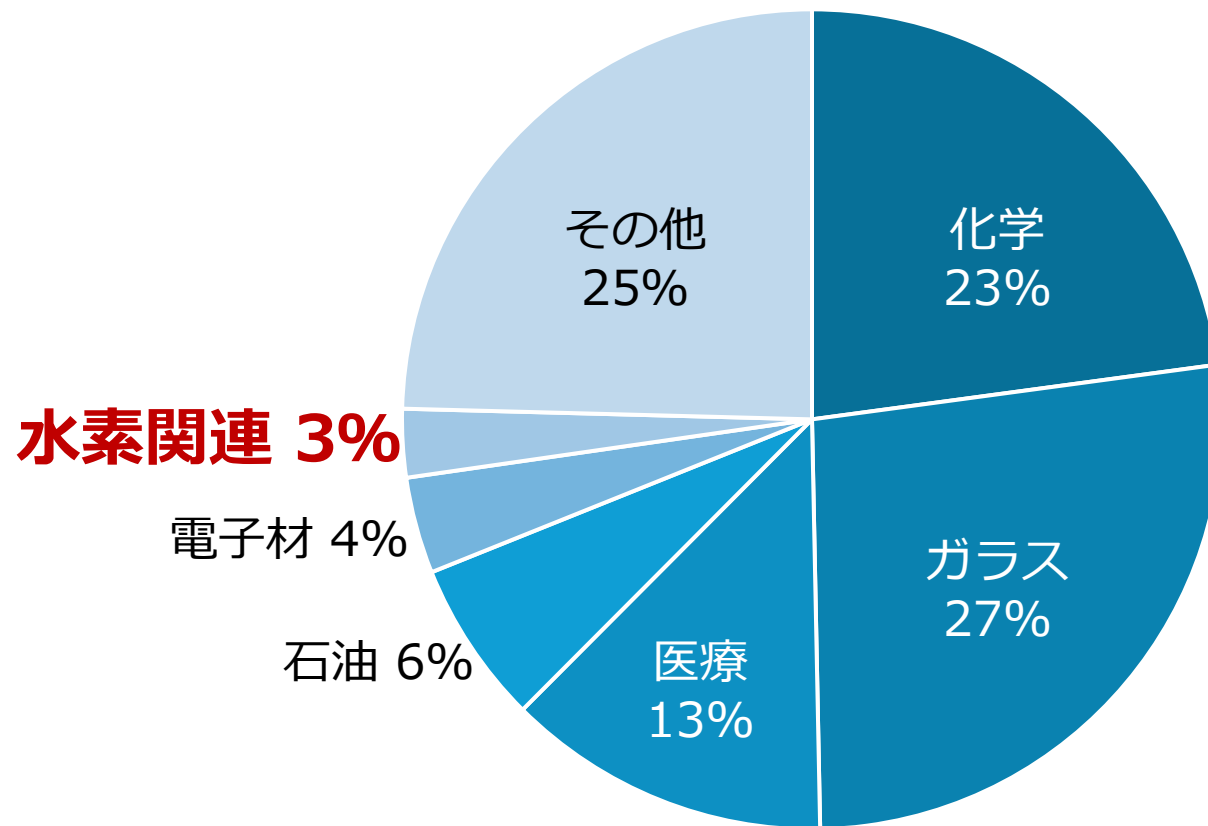
● 内燃機関を有する自動車1台あたりの排ガス浄化装置向け貴金属需要（筆者推計 世界合計） 単位：グラム/台



出所：Johnson Matthey、OICA、IEAのデータをもとに筆者推計

排ガス規制の強化進行は、自動車1台あたりの貴金属需要を増やしている模様

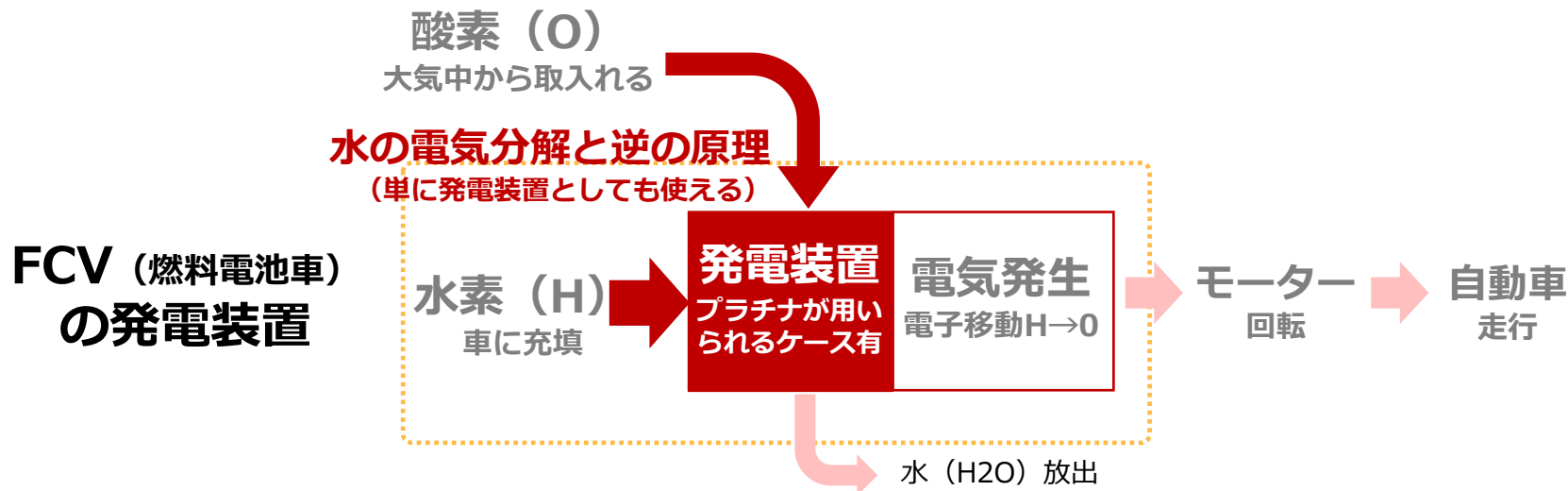
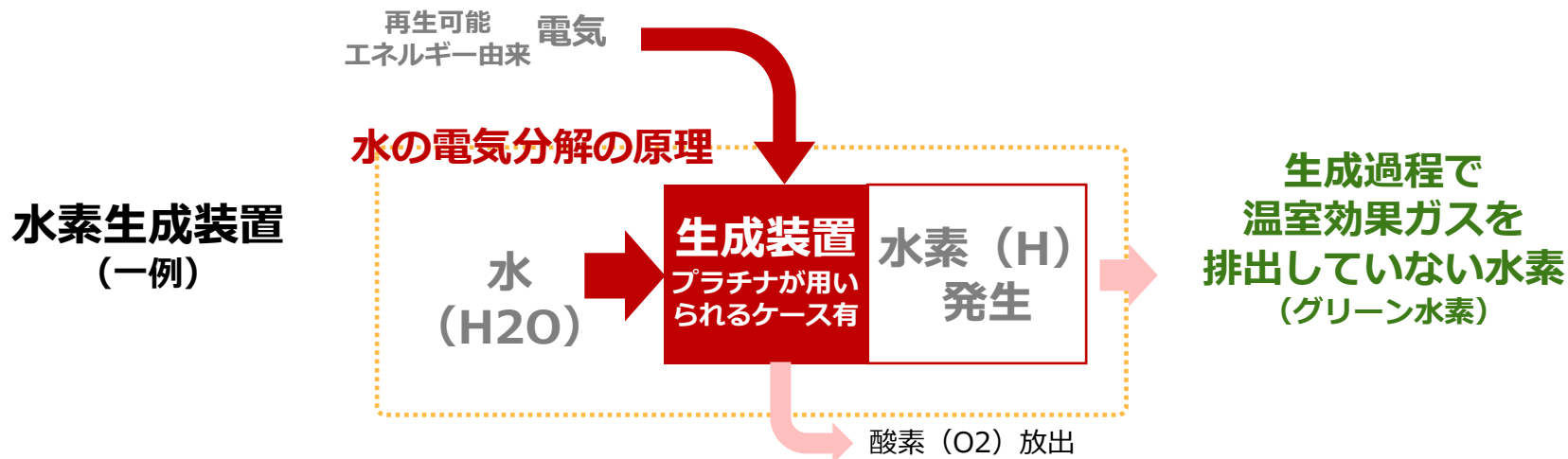
● プラチナの産業用需要内訳 (2024年予想)



出所：WPICのデータより筆者作成

プラチナには、長期視点で需要増加が見込める分野がある。

● 期待されるプラチナの新しい需要（水素関連）



出所：各種資料をもとに筆者作成

水素社会に、プラチナが大きく貢献。長期視点で需要増加が望めるか。

● 長期視点の供給減少要因が進行中。

➡ 世界分断が進行する中、プラチナの主要生産国でも不安強まる。

● 長期視点の需要増加要因が目立ちつつある。

➡ 2015年に悲観視された主要需要は当時とほぼ同水準に。
水素関連の新しい需要が拡大する期待あり。

出所：筆者作成

長期視点で大きな変動が起きつつある。

● 本日の内容

- 「トランプ2.0」の投資環境
- 金（ゴールド）の市場環境
- プラチナの市場環境
- **「トランプ2.0」環境下の貴金属投資戦略**
- 「トランプ2.0」環境で相場と向き合うコツ

出所：筆者作成

金とプラチナは、いつ、どのように投資に用いるべきか？

金（ゴールド）：短期ブレ幅狙い・長期も可

プラチナ：今安い&長期価格上昇観測を利用

出所：筆者作成

金（ゴールド）も、プラチナも、それぞれ魅力的な投資対象だ。

● 「トランプ2.0」 環境下の貴金属投資戦略

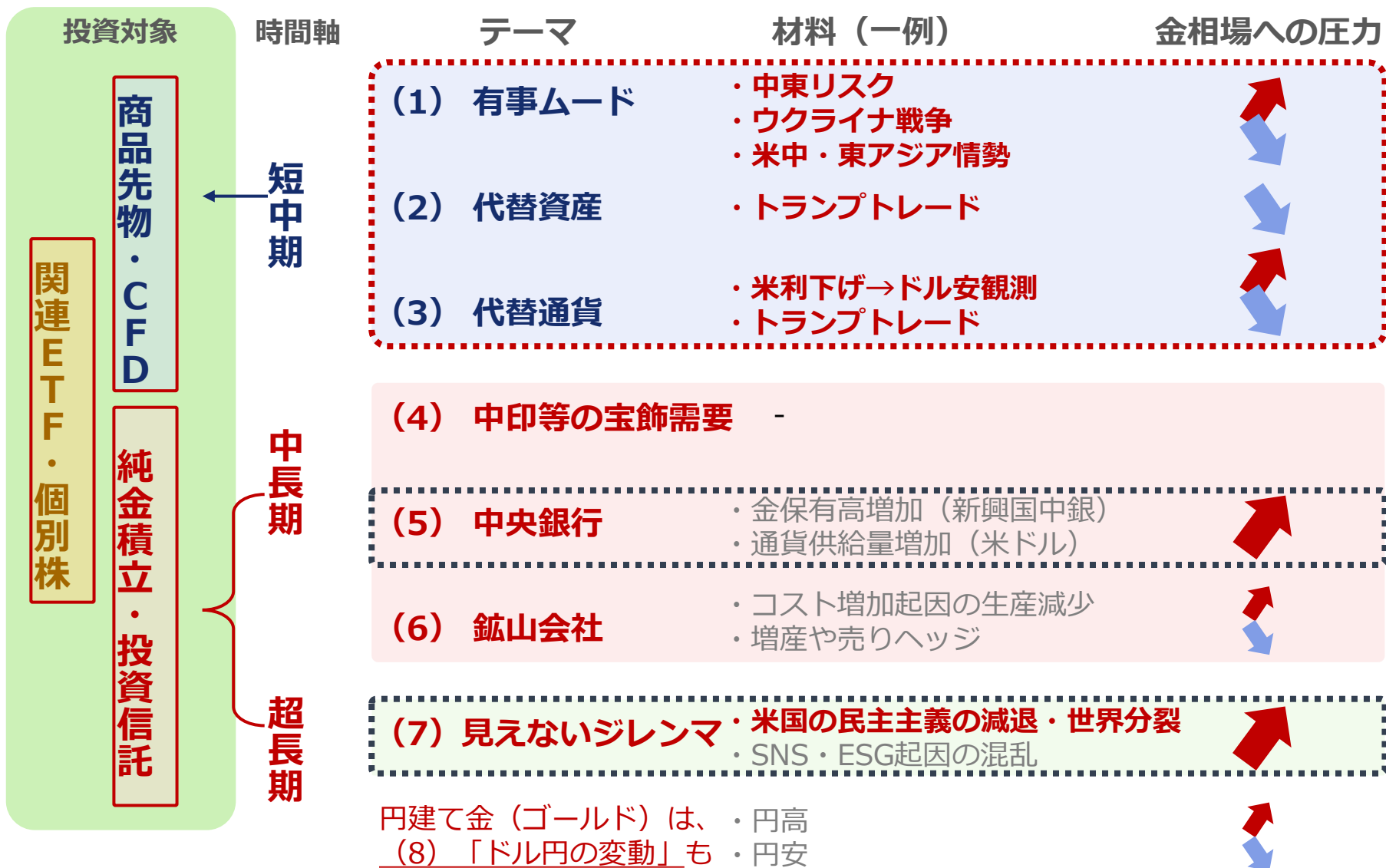
分野	ティッカー	銘柄名
純金積立・スポット購入		金（プラチナ、銀もあり）
投資信託		ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし・あり）
		三菱UFJ 純金ファンド
		ゴールド・ファンド（為替ヘッジなし・あり）
国内ETF/ETN	1326	SPDRゴールド・シェア
	1328	NF金価格連動型上場投資信託
	1540	純金上場信託 プラチナ（1541） 銀（1542） パラジウム（1543）
海外ETF	GLDM	SPDR ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト
	IAU	iシェアーズ・ゴールド・トラスト
	GDX	ヴァンエック・金鉱株ETF
外国株	GOLD	Barrick Gold : バリック・ゴールド
	AU	AngloGold : アンブロゴールド・アシャンティ
	AEM	Agnico Eagle Mines : アグニコ・イーグル・マイنز
	FNV	Franco-Nevada : フランコ・ネバダ
	GFI	Gold Fields : ゴールド・フィールズ
国内商品先物		金、金ミニ、金スポット、（プラチナ、銀、パラジウムもあり）
海外商品先物		金、ミニ金、マイクロ金（銀、ミニ銀もあり）
商品CFD		金、銀、プラチナ、パラジウム

NISA「成長投資枠」対応

出所：楽天証券の情報をもとに筆者作成

貴金属関連の投資商品は、初級から上級向けまで幅広く存在する。

● 金（ゴールド）に関わる七つのテーマ（2024年11月時点）



出所：筆者作成

短期売買や長期投資。投資戦略が決まれば、自ずと注目テーマと投資対象が決まる

● 米雇用統計 (11月1日) 発表直前・直後の値動き (22時15分ごろまで)

大阪金先物 (標準)



CFD金



ドル円



CFD米国500

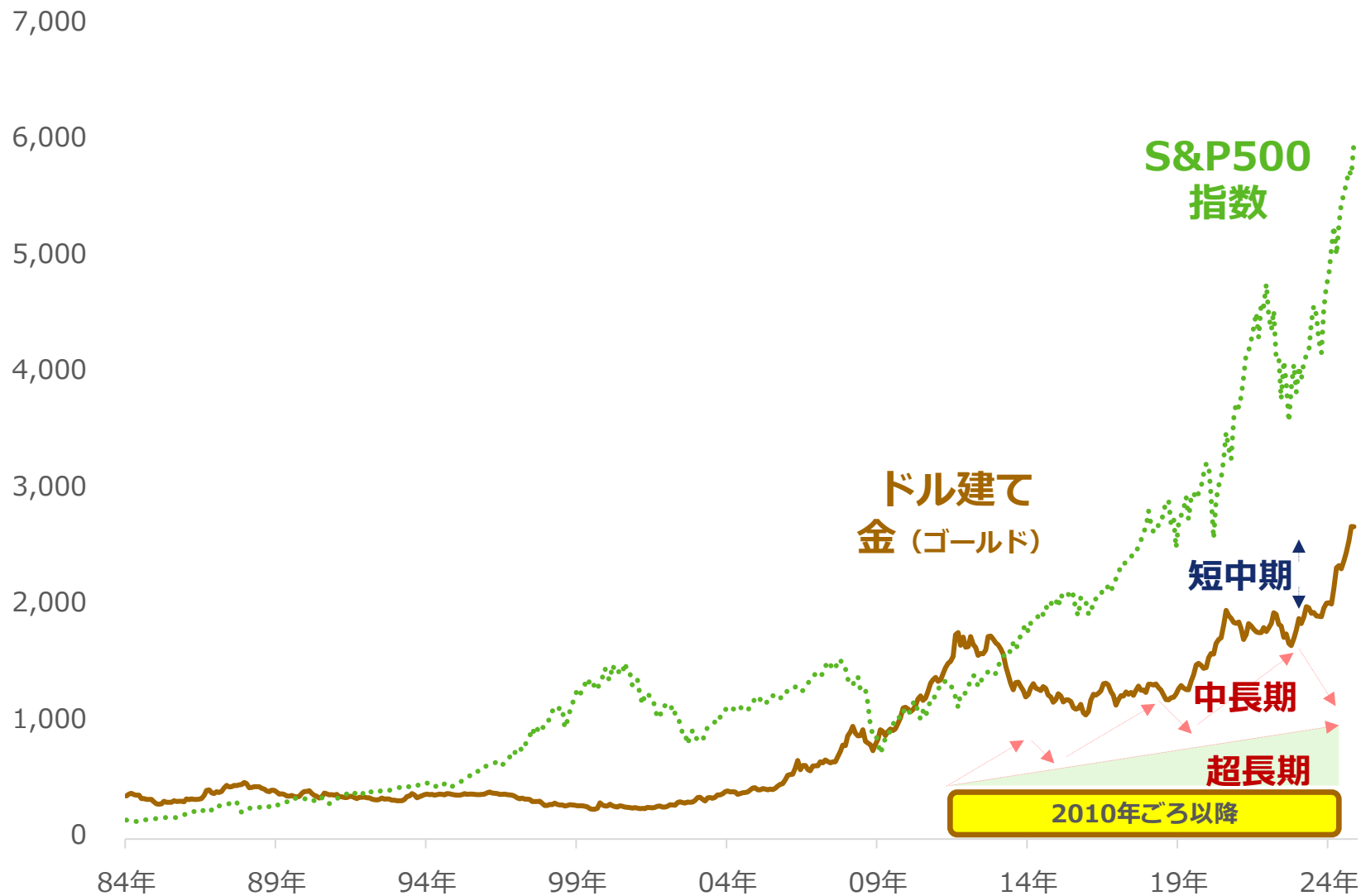


出所：マーケットスピードⅡをもとに筆者作成

変動要因：①は円高、②は米国高+円安。②の米国高は米国株安。

● S&P500指数と金（ゴールド）の価格推移

S&P500指数：ポイント 金：ドル/トロイオンス



出所：LBMAおよびQUICKのデータをもとに筆者作成

株高を「怖い」と感じる投資家もいる。

● 高値を更新し続ける金（ゴールド）相場の印象と長期低迷銘柄の対比

高値を更新し続ける 金（ゴールド）相場

- ・上がり切ってしまった。これから投資を始めても利益を得られないのではないか。
- ・今高いということは、今後安くなる可能性もある。保有した場合にリスクが発生し得る。
- ・以前にこれ以上上がらないと予想したが、予想に反して上昇した。相場予想は難しい。
- ・上がる前の安い時に買っていれば利益を得られたのに。

実際の個人投資家の声

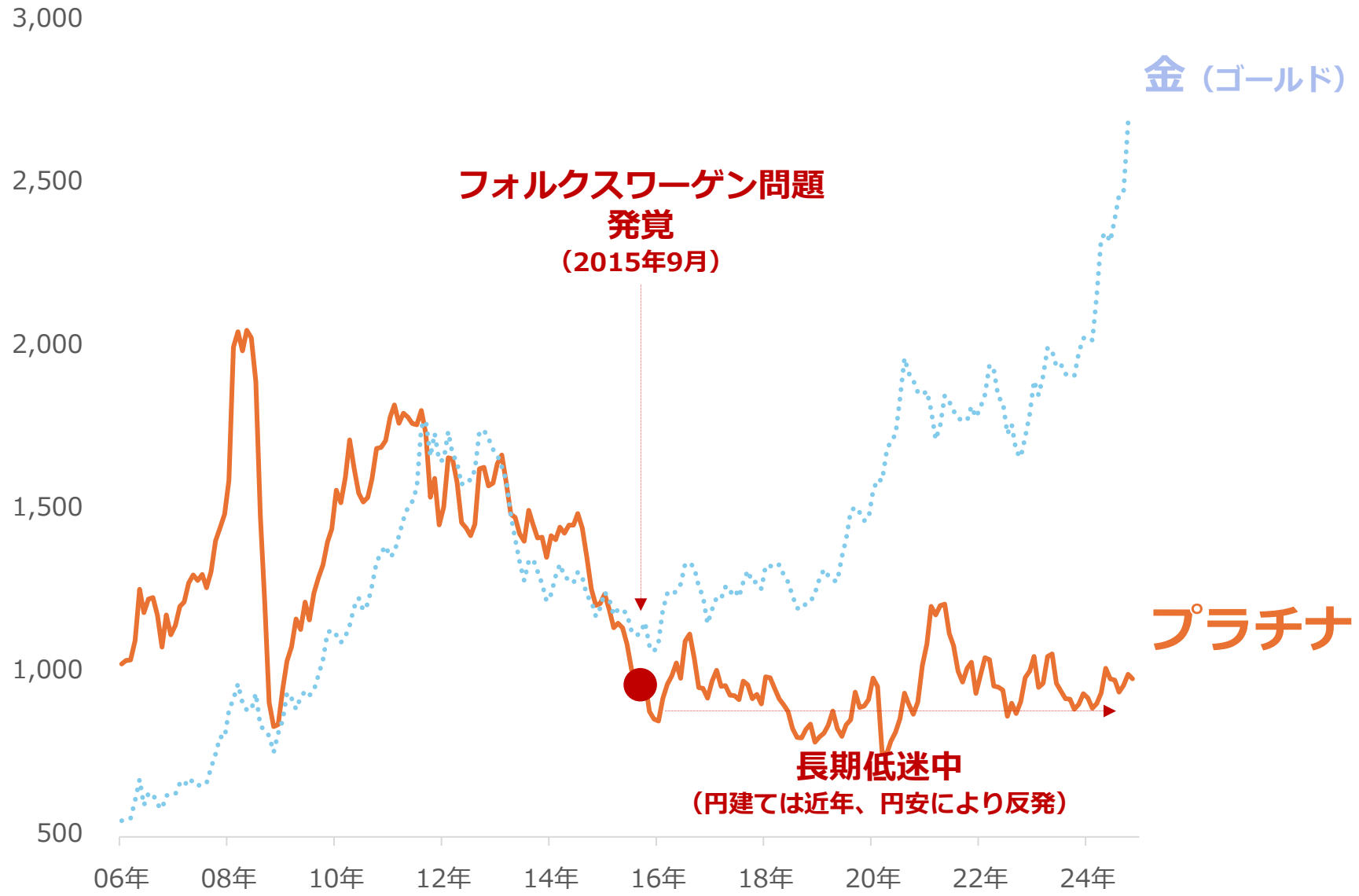
長期低迷銘柄

- ・まだ上がっていない。これから投資を始めても利益を得られるのではないか。
- ・今、長期視点で安い。今後長期底割れは回避できるかも。リスクを低減できるかも。
- ・長期視点の底値がある程度見えている。下落時の目安を予想しやすい。
- ・上がっていないので、これから利益を得られそう。

出所：投資家アンケート「楽天DI」のデータをもとに筆者作成

バブル状態の銘柄よりも長期低迷銘柄の方が保有時の「心労」は小さい

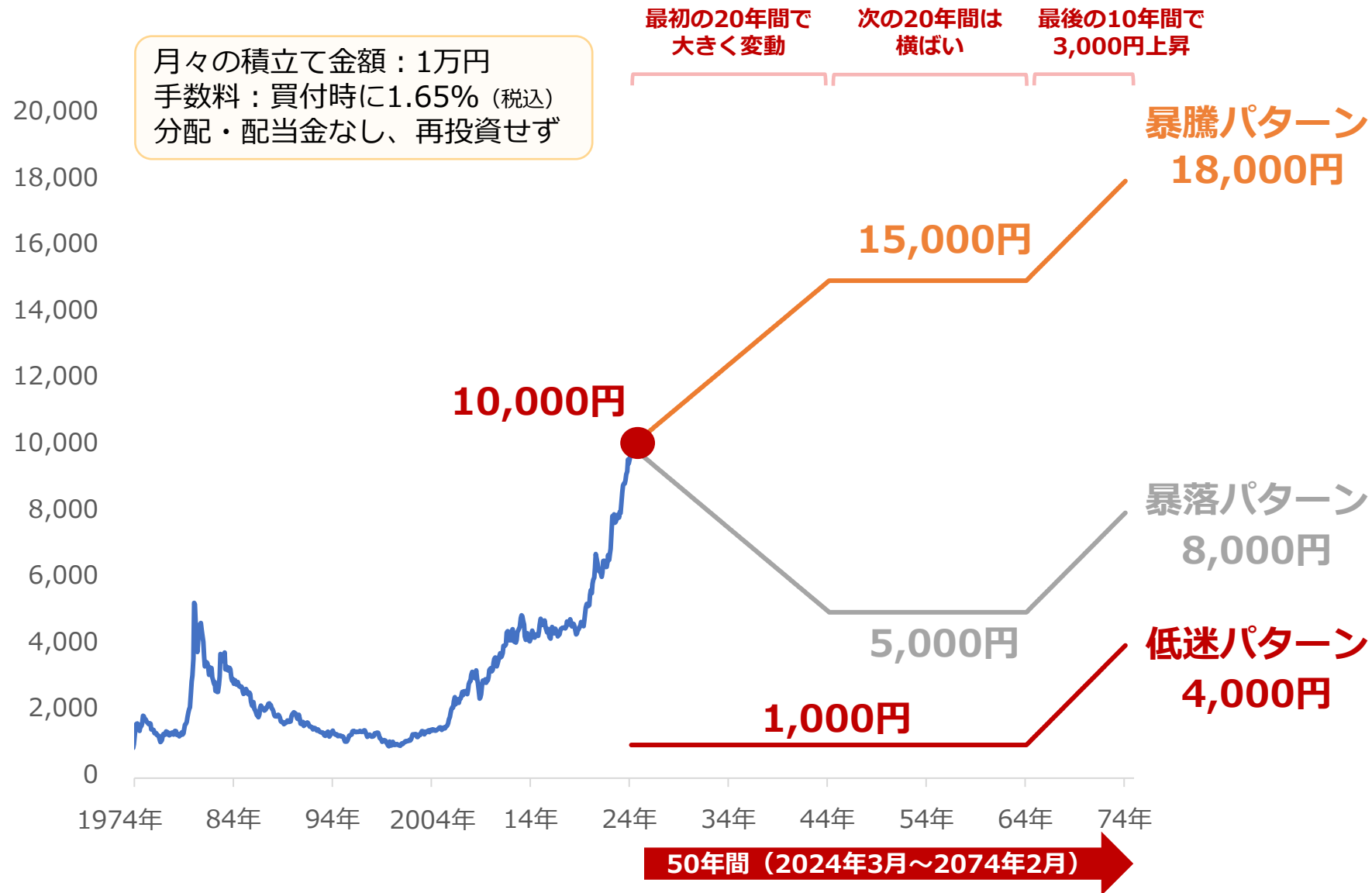
● プラチナと金（ゴールド）の国際価格 単位：ドル/トロイオンス



出所：LBMAのデータをもとに筆者作成

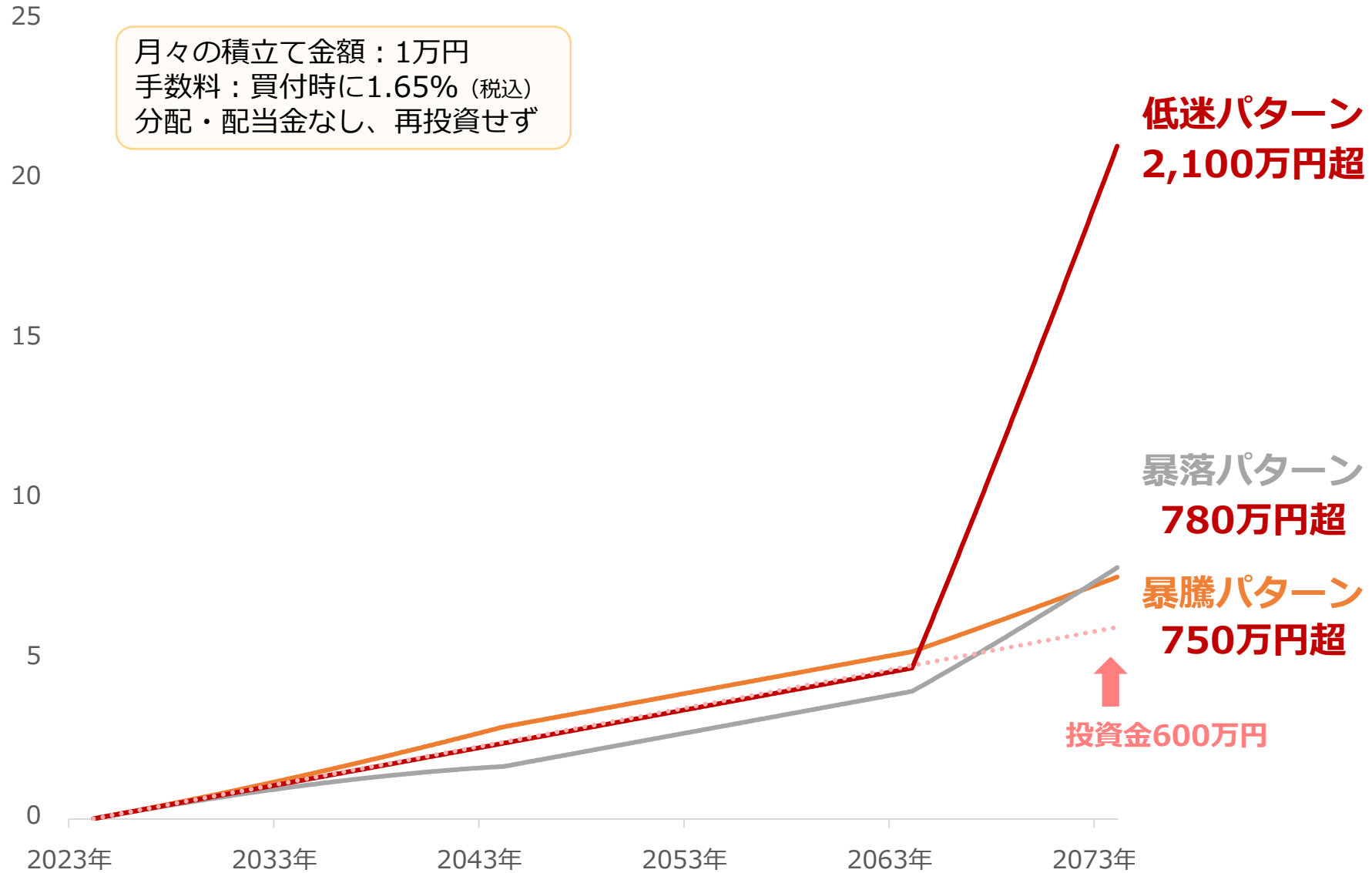
● 積立シミュレーション（3パターンの価格推移）

単位：円/グラム



出所：国内大手地金商のデータをもとに筆者作成

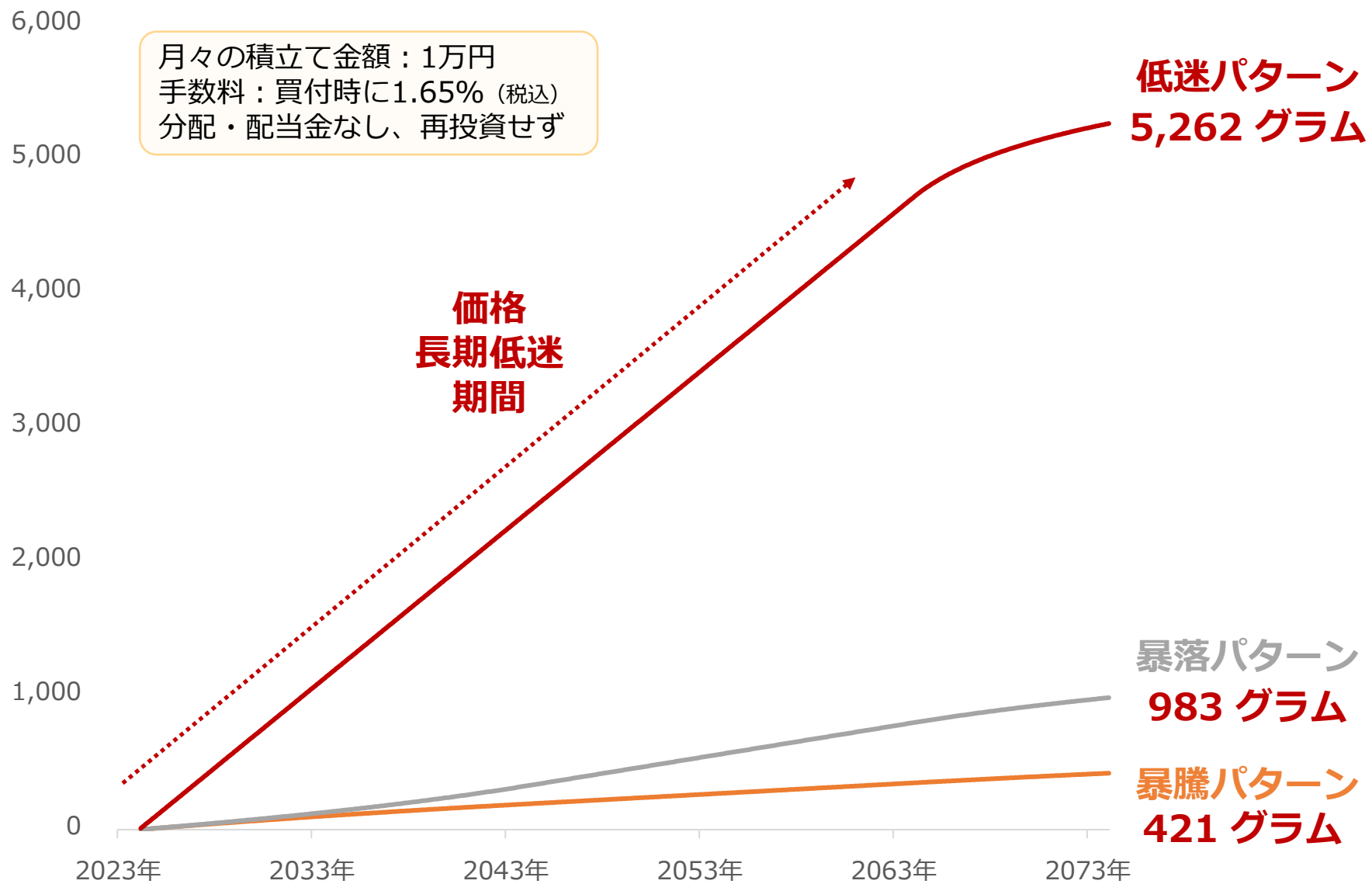
● 積立シミュレーション（3パターンの累積資産額） 単位：百万円



出所：筆者作成

最終的な資産額。低迷パターンは、暴落パターンを大きく上回った。

● 積立シミュレーション（3パターンの累積保有数量） 単位：グラム



出所：筆者作成

最終的な保有数量。低迷パターンは、暴騰パターンの10倍以上になった

● 積立投資の収益イメージと効率化させるための2つの条件

$$\text{積立投資の収益} = \left[\text{保有数量} \times \text{価格} \right]$$



「両方」実現
できそう
プラチナは

(1) 価格下落・低迷を利用。

価格上昇・急騰時は非効率的

(2) 最終的に一定程度、価格反発を期待。

出所：筆者作成

「プラチナ」であれば、積立投資の収益を最大化できるかもしれない。

金（ゴールド）：短期ブレ幅狙い・長期も可

- ➡ 重要指標発表時に、超短期的な順相関・逆相関を狙う。
細かい上下を伴うが、長期保有も可だろう。

プラチナ：今安い&長期価格上昇観測を利用

- ➡ 長期保有が有効か。積立が効果的。

出所：筆者作成

金（ゴールド）も、プラチナも、それぞれ魅力的な投資対象だ。

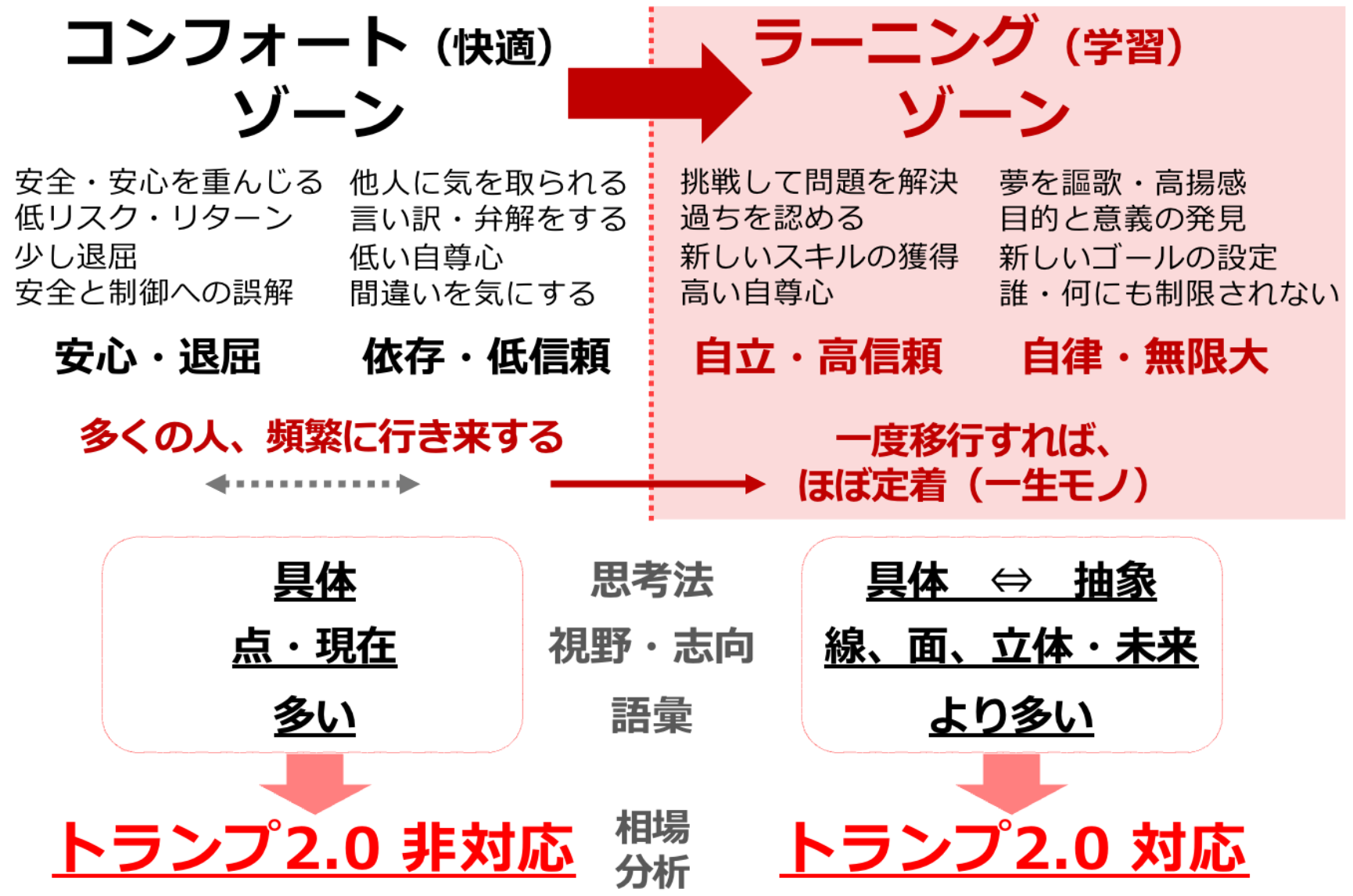
● 本日の内容

- 「トランプ2.0」の投資環境
- 金（ゴールド）の市場環境
- プラチナの市場環境
- 「トランプ2.0」環境下の貴金属投資戦略
- **「トランプ2.0」環境で相場と向き合うコツ**

出所：筆者作成

金とプラチナは、いつ、どのように投資に用いるべきか？

● 人の「二つのゾーン」



出所：筆者作成

ラーニングゾーンへの移行がトランプ2.0時台の相場分析を可能にする。

● トランプ2.0環境下で今まで以上に否定されやすくなる過去の常識

コンフォートゾーンの発想（≡過去の常識）はトランプ2.0ではNG

事象を「点」で把握したり、「点」で把握する傾向が強い過去の常識にとらわれたりしている。

・ 戦争が終われば原油価格は下がる

・ 有事の金（ゴールド）買い

・ 株と金（ゴールド）の逆相関

・ ドルと金（ゴールド）の逆相関

・ 銅相場は景気動向と連動

・ 原油相場は景気動向と連動

戦争だけ、有事だけ、株だけ、
ドルだけ、銅や原油相場だけが、
理由ではない。

出所：筆者作成

コンフォートゾーンの発想では、トランプ2.0を生き抜けない。

● ラーニングゾーンへの移行（筆者イメージ）

- ・ 読書をする事
- ・ 料理をする事
- ・ パソコンを重用する事
- ・ パソコンデスクに世界地図を置く事
- ・ 静かな環境で一人になる時間を設ける事

出所：筆者作成

日常生活の中で、頭の中の「空間」をいかに広げるかが、カギ。

ご清聴いただき、ありがとうございました。